九州経済国際化データ2019

Kyushu economic internationalization data

＜　概要版　＞

2020年3月

経済産業省　九州経済産業局

九州経済国際化データ2019（ポイント①）

九州の「アジア度」

「輸入額」を除く5項目（「輸出額」「海外進出企業件数」「外国人入国者数」「国際航空路線数」「姉妹提携自治体数」）について、九州の「アジア度」は全国よりも高く、九州経済とアジアとの結びつきの強さがうかがえる。

貿　易　　＊「九州経済国際化データ2019【貿易編】」で公表済み

〇九州の貿易額等

2018年の九州の貿易額は、**輸出入額ともに前年より増加、輸出額においては過去最高(※)**　※1979年以降、以下同じ

九州の輸出額の全国比は過去最高であった昨年より0.2ポイント低下

輸出額　6兆9，506億円（前年比 1.6%増、全国比 8.5%、　全国 81兆4,788億円、前年比 4.1%増）

輸入額　5兆8，854億円（前年比 11.5%増、全国比 7.1%、　全国 82兆7,033億円、前年比 9.7%増）

輸出から輸入を引いた貿易収支は＋1兆652億円で前年より減少、**4年連続の貿易黒字**（全国は3年ぶりの赤字）

〇九州と各国の貿易

輸出相手国・地域としては、**中国への輸出額が最も多く**、

次いで米国、韓国、香港、台湾となっており、**アジアの国・地域が全体の6割超**

輸入相手国・地域としては、**中国からの輸入額が最も多く**、

次いでオーストラリア、サウジアラビア、米国、アラブ首長国連邦

〇九州の産業別貿易

2018年の九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、

自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置、船舶類　（上位5品目で全体の5割超）

一方、九州の世界からの輸入品目は、輸入額の大きい順に、

原油及び粗油、石炭、石油ガス類、非鉄金属鉱、半導体等電子部品　（鉱物性燃料や原材料が上位で全体の4割超）

九州経済国際化データ2019（ポイント②）

九州企業の海外展開

・2018年までの九州企業の海外進出累計件数は 1,081件（2018年の新規海外進出件数は27件）
　アジアが 834件（全体の77.2%）を占める。このうち、中国は369件（同34.1%）、ASEAN地域は278件（同25.7%）
・直近5年（2014年−2018年）の新規進出件数の合計は、
　ASEAN地域が76件で全体（158件）の48.1%、中国が16件で同10.1%

海外との人的交流

〇九州への外国人入国者数
・2018年に九州に入国した外国人数（※）は 511.6万人（前年比 3.5%増、全国比15.8%）
　国籍別では、韓国（47.1%）、中国（33.4%）、台湾（8.1%）、香港（5.6%）の順で、アジアからの入国者が97.1%
・2018年に九州に入国した一般上陸外国人数は362.4万人と7年連続の増加。5年前（2013年）の121.6万人から240.7万人増加
・九州への外国クルーズ船による舶観光上陸外国人数は 149.3万人で全国の63.8%
・2018年の九州（下関港を含む）への外国クルーズ船の寄港回数は 816回
　（全国の42.7%、博多港は263回で全国第1位）

〇九州の外国人延べ宿泊者数
・2018年の九州の外国人延べ宿泊者数（従業員が10人以上の施設）は、714.6万人（前年比 8.3%増、全国比8.6%）
・国籍別では、韓国（45.8%）、台湾（16.5%）、香港（12.4%）、中国（11.5%）の順

〇九州の外国人労働者数
・2018年の九州の外国人労働者数は 84,379人（前年比17.4%増）
・産業別では、製造業（28.7%）、卸売業・小売業（14.8%）、宿泊業・飲食サービス業（9.9%）の順
・国籍別では、ベトナム（33.2%）、中国（香港等を含む）（23.1%）、ネパール（11.1%）、フィリピン（10.4%）の順
　また、ネパールの全国比は11.5%と、他の国に比べ最も高くなっている。

〇九州の留学生
・2018年の九州の留学生（高等教育機関及び日本語教育機関）は、28,858人（前年比9.3%増、全国比9.7%）
・国籍別ではベトナム（29.0%）、中国（24.5%）、ネパール（18.7%）、韓国（5.7%）の順で、アジアからの留学生が95.1%

※　入国外国人数は、一般上陸の許可を受けた外国人数及び船舶観光上陸の許可（出入国管理及び難民認定法第14条の2）を受けた外国人数の総数

九州経済国際化データ2019 目次

◎巻頭特集

九州企業のグローバル展開状況について

第1部　九州の国際化についての基礎データ

第１章　九州の特徴　1
第２章　九州の貿易（＊）　6
第３章　九州の対外投資・対内投資　２１
第４章　九州の海外との人的交流　３０

第2部　九州と各国・地域の経済関係（＊）

第１章　九州と韓国の経済関係　４７
第２章　九州と中国の経済関係　５２
第３章　九州と環黄海経済圏の経済関係　５９
第４章　九州と台湾の経済関係　６４
第５章　九州と香港の経済関係　６９
第６章　九州とＡＳＥＡＮの経済関係　７４
第７章　九州とベトナムの経済関係　８５
第８章　九州とタイの経済関係　９０
第９章　九州とシンガポールの経済関係　９５
第１０章　九州とマレーシアの経済関係　１００
第１１章　九州とフィリピンの経済関係　１０５
第１２章　九州とインドネシアの経済関係　１１０
第１３章　九州とミャンマーの経済関係　１１５
第１４章　九州とインドの経済関係　１２０
第１５章　九州とＥＵの経済関係（英国を含む）　１２５
第１６章　九州と米国の経済関係　１３７
第１７章　九州とオーストラリアの経済関係　１４２

第3部　分野別に見た九州の主要産業（＊）

第１章　自動車・自動車の部分品　１４７
第２章　半導体等電子部品　１５１
第３章　鉄鋼　１５３
第４章　船舶類　１５５
第５章　食料品　１５６
第６章　農林水産物及び加工品　１５９
第７章　鉱物性燃料　１７３

◎トピックス

1. 九州とTPP加盟国との貿易動向について　17
2. 平成30年間の九州と世界の貿易動向について　18
3. 外資系企業が日本で事業展開する上での魅力と阻害要因　29
4. 九州から中国への自動車の輸出について　58
5. 環黄海経済・技術交流会議について　60
6. 九州と全国のASEAN度　84
7. 日本酒の輸出について　171

◎巻末資料

1. 九州と全国のアジア度推移
2. 九州及び日本の貿易の変遷（＊）
3. 九州企業の海外進出状況
4. 九州の国籍別入国者数
5. 九州における出身国・地域別外国人留学生数
6. 九州の姉妹提携自治体一覧
7. 地理圏・経済圏の分類表（＊）
8. 品目分類表（＊）

◎別冊資料（＊）

九州の品目別貿易動向　各国・地域別データ集

注）＊については「九州経済国際化データ2019【貿易編】」に既掲載(2019年10月公表)。ただし、第2部第3章の環黄海経済圏との経済関係及び第2部各章の「九州企業の当該国への進出件数に係るデータ」は今回掲載。

九州経済国際化データ2019〈概要版〉 目次

アジア度 ……p1

・九州の特徴（アジアとの経済交流） p1

貿　易＊ ……p2

・九州の貿易（総括） p2　・九州の品目別貿易動向 p3　・九州の国・地域別貿易動向 p4
・九州の貿易収支 p5　・九州と各国（韓国、中国、台湾、香港、ASEAN、EU、米国）との貿易動向 p6～14
・九州の産業別（自動車、半導体等電子部品、食料品、鉱物性燃料）貿易動向 p15～18

九州企業の海外進出 ……p19

・九州企業の海外進出 p19～20

海外との人的交流 ……p21

・九州への外国人入国者 p21～22　・九州の外国人延べ宿泊者数 p23　・九州の外国人労働者 p24～25
・九州の留学生 p26

トピックス ……p27

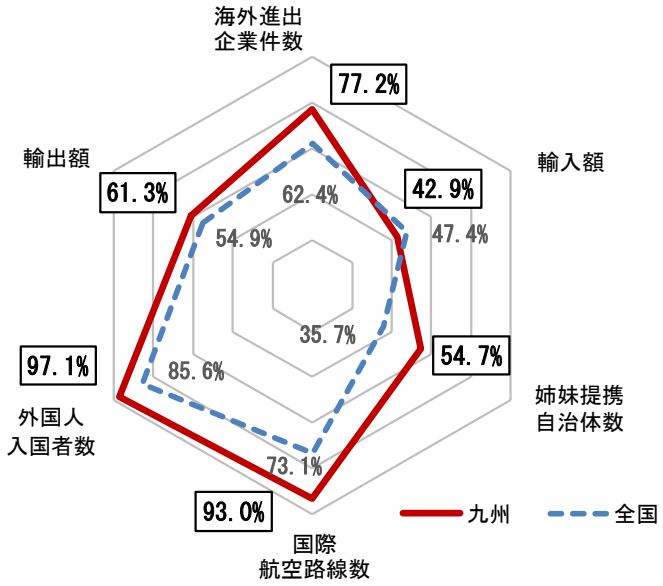
・九州とTPP加盟国との貿易動向について p27

九州の特徴（アジアとの経済交流）

九州とアジア地域の経済交流の深まりを見るため、「輸出額」、「輸入額」、「海外進出企業件数」、「外国人入国者数」、「国際航空路線数」、「姉妹提携自治体数」の6項目を取り上げ、経済活動全体に占める対アジアの割合を「アジア度」として算出。

2018年の九州と全国の「アジア度」を比較すると、「輸入額」を除いた5項目について、九州の「アジア度」が全国よりも高く、九州経済はアジアとの結びつきが強いことがうかがえる。なお、輸出額のアジア度（61.3%）は、2000年以降で過去最高。（従来は2015年の60.0%）

九州と全国のアジア度の比較



		九州			全国		
項目	単位	アジア	世界	アジア度	アジア	世界	アジア度
海外進出企業件数	件	834	1,081	77.2%	19,687	31,574	62.4%
輸入額	億円	25,260	58,854	42.9%	392,178	827,033	47.4%
姉妹都市提携自治体数	件	104	190	54.7%	628	1,757	35.7%
国際航空路線数	路線	40	43	93.0%	286	391	73.1%
外国人入国者数	人	4,970,525	5,116,366	97.1%	27,761,848	32,439,905	85.6%
輸出額	億円	42,595	69,506	61.3%	447,356	814,788	54.9%

備考：「輸入額」「外国人入国者数」「輸出額」は2018年1年間の数値、「海外進出企業件数」「姉妹提携自治体数」は2018年までの累計件数、「国際航空路線数」は2018年時点で確認できるデータを掲載。

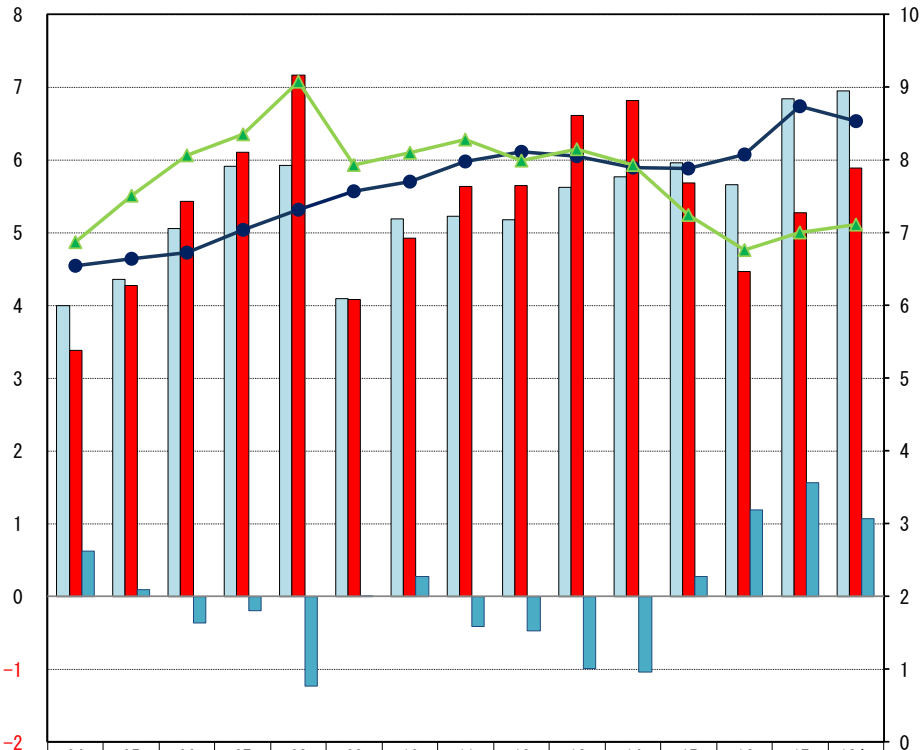
出所：財務省「貿易統計」、（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出2018」、東洋経済新報社「海外進出企業総覧2019（国別編）」、法務省「出入国管理統計年報」、JTBパブリッシング「JTB時刻表2019年4月号」、（一財）自治体国際化協会ホームページより九州経済産業局作成。

九州の貿易（総括）＊

○2018年の九州の貿易額
輸出総額：６兆９，５０６億円（前年比1.6%増）　→　２年連続のプラス（過去最高）
輸入総額：５兆８，８５４億円（前年比11.5%増）→　２年連続のプラス
貿易収支：１兆　　６５２億円（前年比31.8%減）→　４年連続の輸出超過

★2018年の九州の輸出額は過去最高★
2018年の九州の輸出額は、前年より1,097億円増加し（前年比1.6%増）、1979年以降で過去最高。輸出額の全国に占める割合（全国比）及び輸出額から輸入額を引いた貿易収支は前年より減少。

九州の対世界貿易額と全国比の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	4.0	4.4	5.1	5.9	5.9	4.1	5.2	5.2	5.2	5.6	5.8	6.0	5.7	6.8	7.0
輸入額	3.4	4.3	5.4	6.1	7.2	4.1	4.9	5.6	5.6	6.6	6.8	5.7	4.5	5.3	5.9
貿易収支	0.6	0.1	-0.4	-0.2	-1.2	0.0	0.3	-0.4	-0.5	-1.0	-1.0	0.3	1.2	1.6	1.1
輸出全国比	6.5	6.6	6.7	7.0	7.3	7.6	7.7	8.0	8.1	8.1	7.9	7.9	8.1	8.7	8.5
輸入全国比	6.9	7.5	8.1	8.4	9.1	7.9	8.1	8.3	8.0	8.1	7.9	7.2	6.8	7.0	7.1

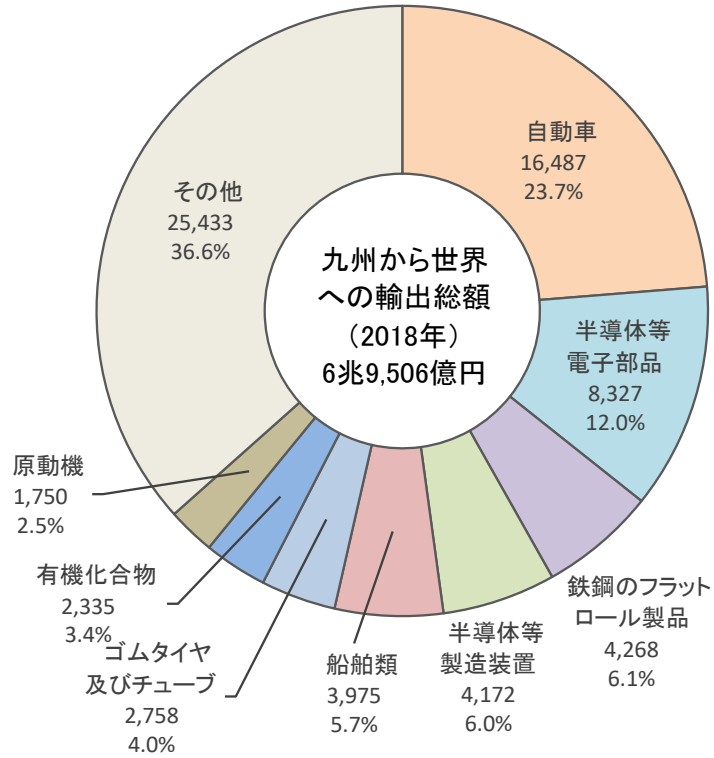
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の品目別貿易動向＊

〇輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置、船舶類
→　この上位５品目で輸出額全体の５割超。
〇輸入品目（輸入額多い順）原油及び粗油、石炭、石油ガス類、非鉄金属鉱
→　鉱物性燃料と原材料が上位を占め、輸入額全体の４割超

九州から世界への輸出品目

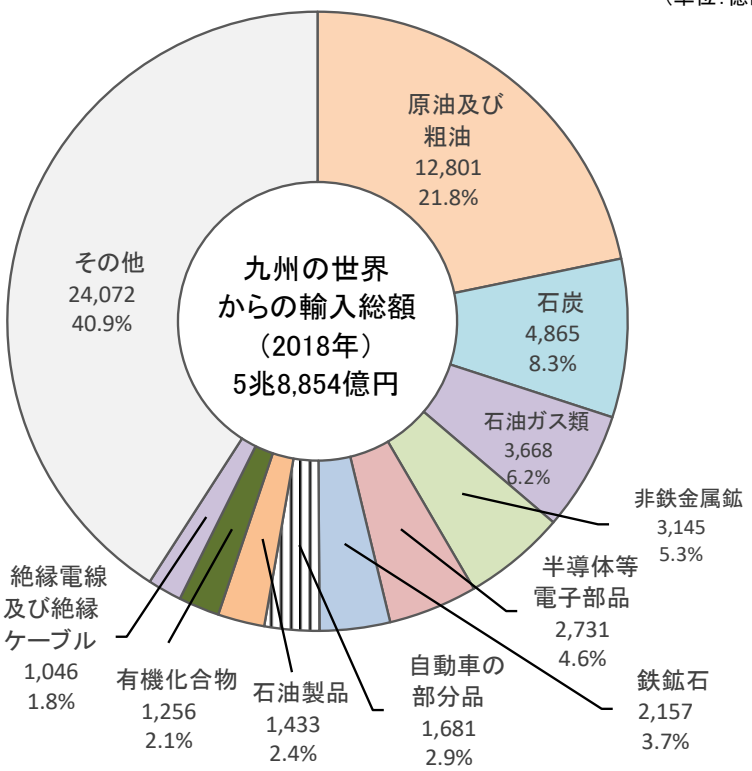
（単位：億円、%）



寄与度（増加分）：映像機器（＋0.6%）、二輪自動車類（＋0.4%）　等
寄与度（減少分）：船舶類（▲1.2%）、自動車（▲0.8%）　等

九州の世界からの輸入品目

（単位：億円、%）



寄与度（増加分）：原油及粗油（＋5.5%）、非鉄金属鉱（＋1.5%）　等
寄与度（減少分）：原動機（▲0.2%）、半導体等電子部品（▲0.2%）　等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

※寄与度とは、貿易統計において（前期との差額）÷（前期の輸出または輸入総額）で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。単位は%。なお、寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。以下同じ。

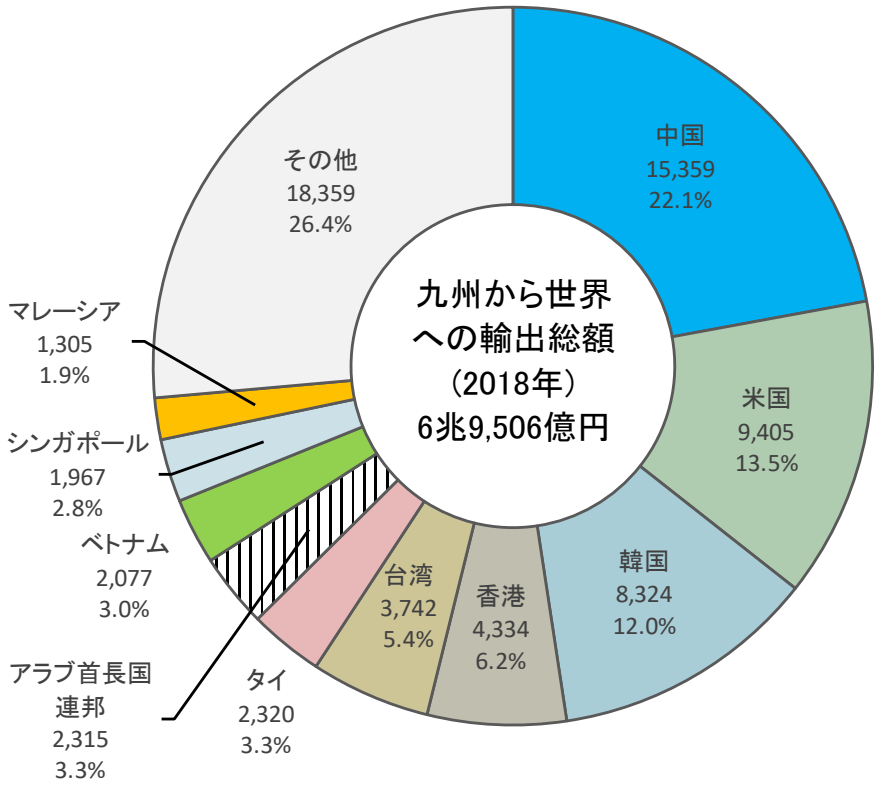
九州の国・地域別貿易動向＊

〇輸出相手国・地域（輸出額多い順）中国、米国、韓国、香港、台湾

〇輸入相手国・地域（輸入額多い順）中国、オーストラリア、サウジアラビア、米国、アラブ首長国連邦

九州の輸出相手国・地域

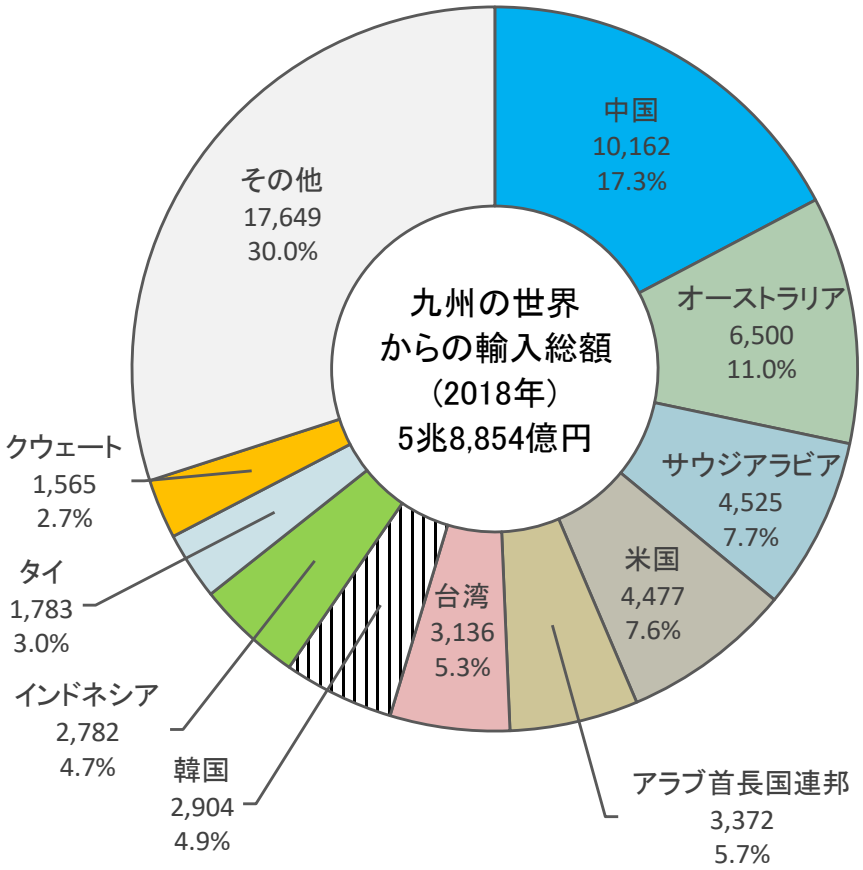
（単位：億円、％）



寄与度（増加分）：中国（＋3.5%）、アラブ首長国連邦（＋1.0%）　等
寄与度（減少分）：韓国（▲2.8%）、米国（▲2.6%）等

九州の輸入相手国・地域

（単位：億円、％）



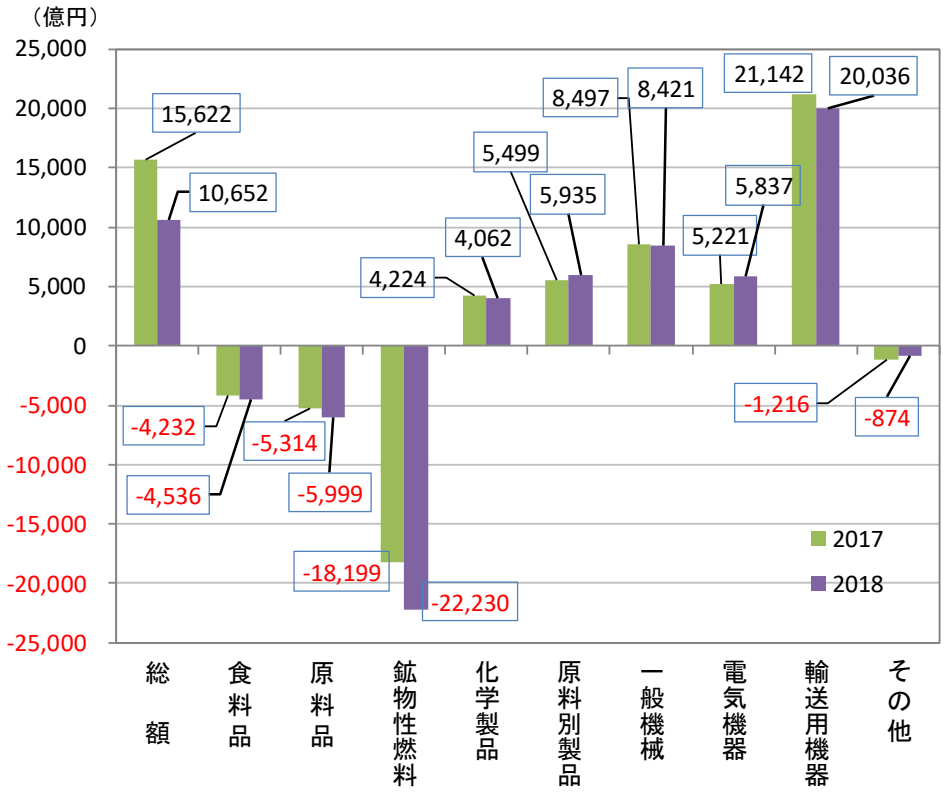
寄与度（増加分）：米国（＋2.2%）、サウジアラビア（＋1.9%）　等
寄与度（減少分）：パナマ（▲0.4%）、ロシア（▲0.3%）　等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の貿易収支＊

〇2018年の九州の貿易収支は＋1兆652億円　→　過去最高であった昨年からは減少、4年連続の貿易黒字
〇品目別では、前年に比べて鉱物性燃料の輸入超過額が増加したものの、輸送用機器や一般機械、電気機器等の輸出超過額が大きかったため、九州の貿易収支は貿易黒字となった。
〇輸出超過額（多い順）　韓国（5,421億円）、中国（5,197億円）、米国（4,928億円）
〇輸入超過額（多い順）　オーストラリア（5,417億円）、サウジアラビア（4,202億円）、インドネシア（1,814億円）

九州の品目別貿易収支（2017-2018年）



九州の相手国・地域別貿易収支（2017,2018年）

（単位：億円）

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
韓国	5,421	オーストラリア	▲ 5,417
中国	5,197	サウジアラビア	▲ 4,202
米国	4,928	インドネシア	▲ 1,814
香港	4,152	クウェート	▲ 1,387
シンガポール	1,813	ロシア	▲ 1,114
九州の貿易収支額（2018年）　1兆652億円			

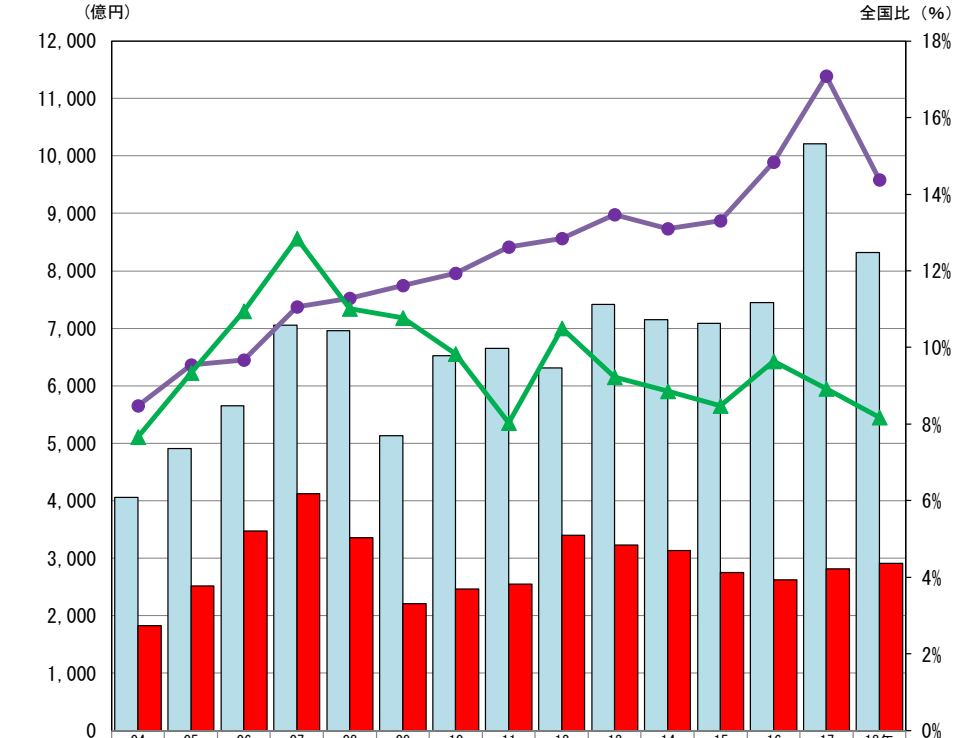
相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	7,830	オーストラリア	▲ 4,856
韓国	7,393	サウジアラビア	▲ 3,253
香港	3,690	インドネシア	▲ 1,676
中国	3,253	ロシア	▲ 1,304
シンガポール	1,943	アラブ首長国連邦	▲ 1,127
九州の貿易収支額（2017年）　1兆5,622億円			

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州と韓国の貿易動向＊

○2018年の九州の対韓国貿易額
　輸出総額：８，３２４億円（前年比18.4%減）　→　３年ぶりのマイナス
　輸入総額：２，９０４億円（前年比3.2%増）　→　２年連続のプラス
　差引額　：５，４２０億円（前年比▲26.7%）
○輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車
○輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化合物

九州の対韓国貿易額の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	4,060	4,912	5,654	7,056	6,960	5,126	6,518	6,649	6,312	7,421	7,148	7,089	7,451	10,206	8,324
輸入額	1,825	2,518	3,478	4,126	3,360	2,209	2,463	2,544	3,394	3,225	3,130	2,747	2,625	2,814	2,904
輸出全国比	8.5%	9.5%	9.7%	11.1%	11.3%	11.6%	11.9%	12.6%	12.9%	13.5%	13.1%	13.3%	14.8%	17.1%	14.4%
輸入全国比	7.7%	9.3%	10.9%	12.9%	11.0%	10.8%	9.8%	8.0%	10.5%	9.2%	8.9%	8.5%	9.6%	8.9%	8.2%

九州の主な対韓国輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等製造装置	一般機械	1,611	19.4%	▲43.8%	25.6%
半導体等電子部品	電気機器	1,543	18.5%	▲29.6%	60.2%
自動車	輸送用機器	619	7.4%	22.5%	79.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	560	6.7%	▲11.8%	21.5%
有機化合物	元素及び化合物	343	4.1%	▲26.6%	11.3%
科学光学機器	精密機器類	289	3.5%	▲10.9%	11.6%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	281	3.4%	30.0%	16.7%
電池	電気機器	95	1.1%	33.6%	50.7%
無機化合物	元素及び化合物	92	1.1%	57.8%	7.6%
映像機器	電気機器	73	0.9%	▲9.4%	46.3%
その他		2,817	33.8%	－	－
総　額		8,324	100%	▲18.4%	14.4%

寄与度（増加分）：自動車（＋1.1%）、鉄鋼くず（＋0.6%）等
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲12.3%）、半導体等電子部品（▲6.3%）等

主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	345	11.9%	▲12.2%	14.5%
石油製品	石油及び同製品	326	11.2%	142.8%	6.0%
有機化合物	元素及び化合物	250	8.6%	111.9%	14.2%
自動車の部分品	輸送用機器	227	7.8%	▲10.7%	28.9%
半導体等電子部品	電気機器	93	3.2%	▲23.2%	3.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	金属製品	83	2.9%	▲34.9%	21.2%
半導体等製造装置	一般機械	59	2.0%	▲31.0%	10.3%
電気回路等の機器	電気機器	56	1.9%	12.5%	23.5%
野菜	果実及び野菜	53	1.8%	▲17.6%	16.8%
原動機	一般機械	51	1.8%	▲33.7%	12.1%
その他		1,360	46.8%	－	－
総　額		2,904	100%	3.2%	8.2%

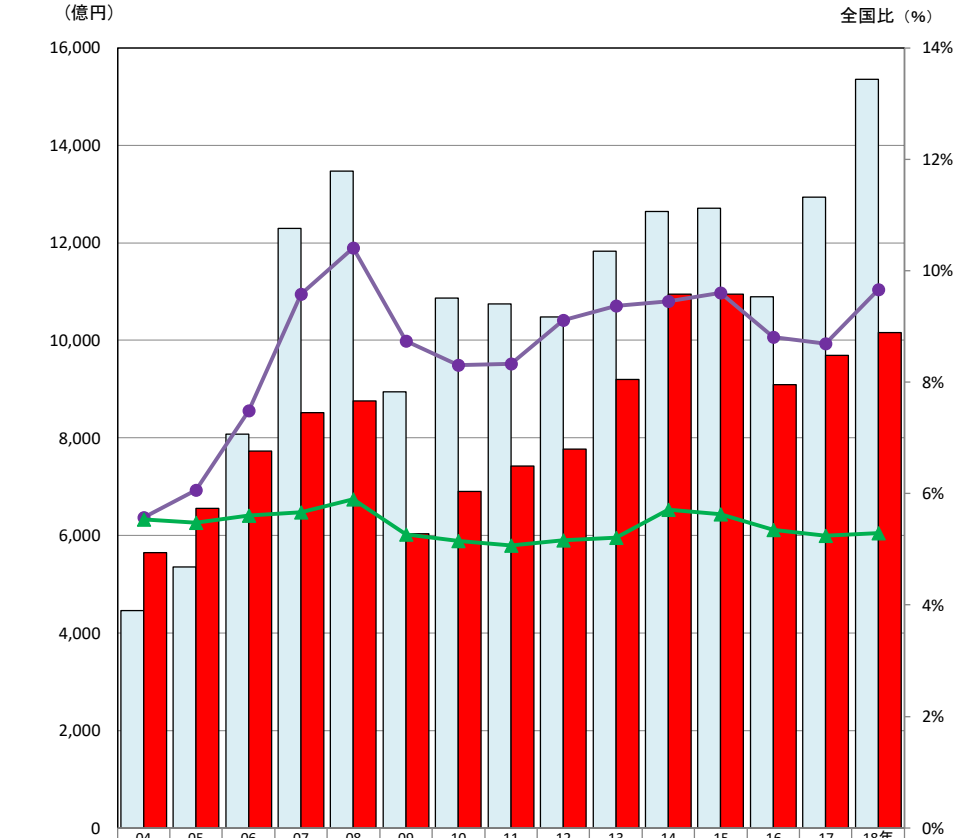
寄与度（増加分）：石油製品（＋6.8%）、有機化合物（＋4.7%）等
寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲1.7%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州と中国の貿易動向＊

○2018年の九州の対中国貿易額
　輸出総額：１兆５，３５９億円（前年比18.7%増）　→　２年連続のプラス
　輸入総額：１兆　　１６２億円（前年比 4.9%増）　→　２年連続のプラス
　差引額　：　　５，２０７億円（前年比＋1,955億円）
○輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物
○輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物

九州の対中国貿易額の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	4,455	5,354	8,079	12,291	13,472	8,938	10,861	10,747	10,485	11,834	12,642	12,704	10,887	12,941	15,359
輸入額	5,642	6,559	7,731	8,511	8,755	6,027	6,903	7,427	7,768	9,198	10,948	10,949	9,097	9,689	10,162
輸出全国比	5.6%	6.1%	7.5%	9.6%	10.4%	8.7%	8.3%	8.3%	9.1%	9.4%	9.4%	9.6%	8.8%	8.7%	9.7%
輸入全国比	5.5%	5.5%	5.6%	5.7%	5.9%	5.3%	5.1%	5.1%	5.2%	5.2%	5.7%	5.6%	5.3%	5.2%	5.3%

九州の主な対中国輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,906	31.9%	22.4%	76.9%
半導体等製造装置	一般機械	2,270	14.8%	59.6%	21.0%
有機化合物	元素及び化合物	954	6.2%	8.4%	12.2%
半導体等電子部品	電気機器	696	4.5%	▲19.5%	6.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	616	4.0%	4.1%	15.6%
銅及び同合金	非鉄金属	587	3.8%	7.5%	23.9%
原動機	一般機械	547	3.6%	13.4%	10.6%
科学光学機器	精密機器類	216	1.4%	18.6%	2.6%
映像機器	電気機器	206	1.3%	96.1%	18.0%
電気回路等の機器	電気機器	169	1.1%	▲26.2%	2.8%
その他		4,191	27.3%	－	－
総　額		15,359	100%	18.7%	9.7%

寄与度(増加分)：自動車（＋6.9%）、半導体等製造装置（＋6.6%）等
寄与度(減少分)：半導体等電子部品（▲1.3%）、抗生物質製剤（▲0.5%）等

主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車の部分品	輸送用機器	627	6.2%	▲8.4%	17.8%
半導体等電子部品	電気機器	551	5.4%	0.8%	11.0%
有機化合物	元素及び化合物	452	4.4%	▲2.1%	11.6%
無機化合物	元素及び化合物	435	4.3%	71.6%	13.8%
電気回路等の機器	電気機器	280	2.8%	▲24.6%	10.0%
野菜	果実及び野菜	253	2.5%	5.1%	9.3%
家庭用電気機器	電気機器	245	2.4%	16.7%	5.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	243	2.4%	▲6.9%	2.6%
加熱用・冷却用機器	一般機械	219	2.2%	20.2%	7.5%
プラスチック製品	その他の雑製品	208	2.0%	3.4%	5.4%
その他		6,649	65.4%	－	－
総　額		10,162	100%	4.9%	5.3%

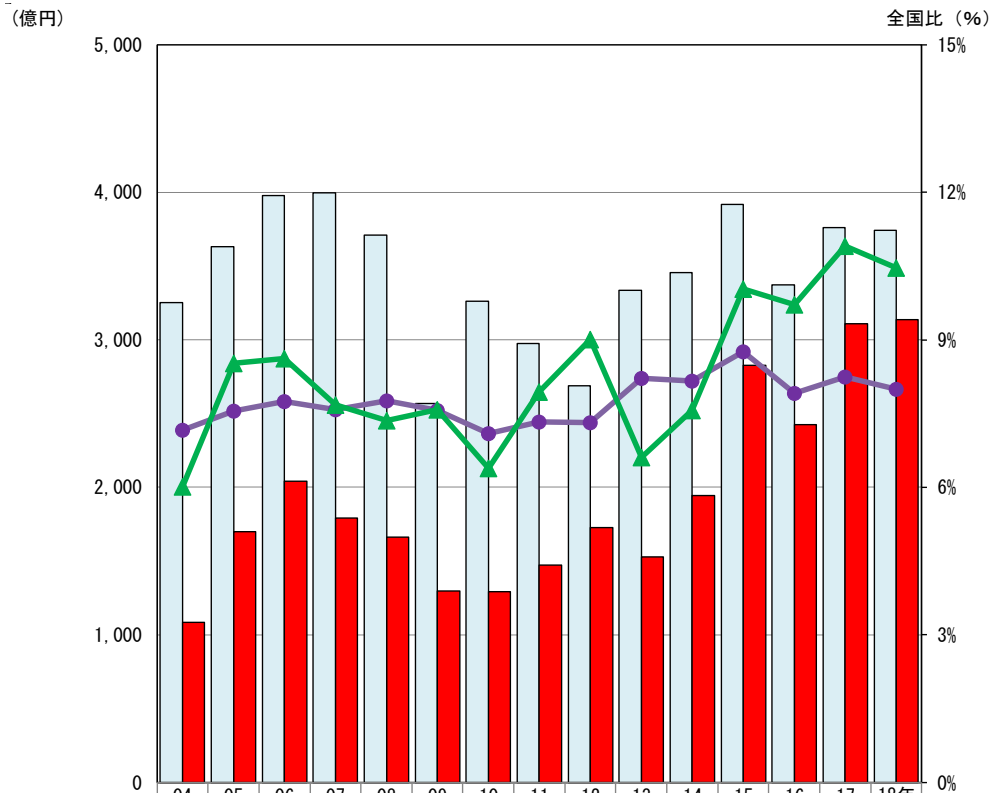
寄与度(増加分)：無機化合物（＋1.9%）、石油製品（＋0.7%）等
寄与度(減少分)：電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州と台湾の貿易動向＊

〇2018年の九州の対台湾貿易額
　輸出総額：３，７４２億円（前年比　0.4%減）　→２年ぶりのマイナス
　輸入総額：３，１３６億円（前年比　1.0%増）　→２年連続のプラス
　差引額　：　　６０６億円（前年比　7.1%減）
〇輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、有機化合物
〇輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物

九州の対台湾貿易額の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	3,251	3,633	3,977	3,995	3,707	2,570	3,262	2,975	2,689	3,336	3,454	3,916	3,374	3,759	3,742
輸入額	1,084	1,701	2,039	1,793	1,662	1,296	1,294	1,471	1,729	1,529	1,943	2,828	2,424	3,106	3,136
輸出全国比	7.2%	7.6%	7.8%	7.6%	7.8%	7.6%	7.1%	7.3%	7.3%	8.2%	8.2%	8.8%	7.9%	8.2%	8.0%
輸入全国比	6.0%	8.5%	8.6%	7.7%	7.4%	7.6%	6.4%	7.9%	9.0%	6.6%	7.6%	10.0%	9.7%	10.9%	10.5%

九州の主な対台湾輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	589	15.7%	25.4%	22.7%
半導体等電子部品	電気機器	359	9.5%	▲7.5%	5.0%
有機化合物	元素及び化合物	267	7.1%	1.7%	13.3%
銅及び同合金	非鉄金属	228	6.1%	19.6%	14.3%
半導体等製造装置	一般機械	194	5.2%	▲12.0%	4.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	139	3.7%	0.4%	20.4%
科学光学機器	精密機器類	98	2.6%	▲10.4%	7.4%
無機化合物	元素及び化合物	95	2.5%	▲2.0%	14.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	36	1.0%	▲57.0%	7.9%
ベアリング及び同部分品	一般機械	32	0.9%	6.1%	16.4%
その他		1,706	45.4%	－	－
総　額		3,742	100.0%	▲0.4%	8.0%

寄与度（増加分）：自動車（＋3.2%）、銅及び同合金（＋1.0%）等
寄与度（減少分）：原動機（▲4.0%）、ポンプ及び遠心分離機（▲1.3%）等

主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,928	61.5%	▲4.8%	16.5%
科学光学機器	精密機器類	144	4.6%	▲15.5%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	93	3.0%	127.5%	18.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	75	2.4%	26.7%	40.3%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.7%	5.8%	6.7%
音響・映像機器（含部品）	電気機器	22	0.7%	▲12.5%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	22	0.7%	7.5%	2.9%
重電機器	電気機器	18	0.6%	2.5%	9.6%
魚介類	魚介類及び同調整品	16	0.5%	54.6%	2.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	14	0.4%	▲17.6%	16.6%
その他		782	24.9%	－	－
総　額		3,136	100%	1.0%	10.5%

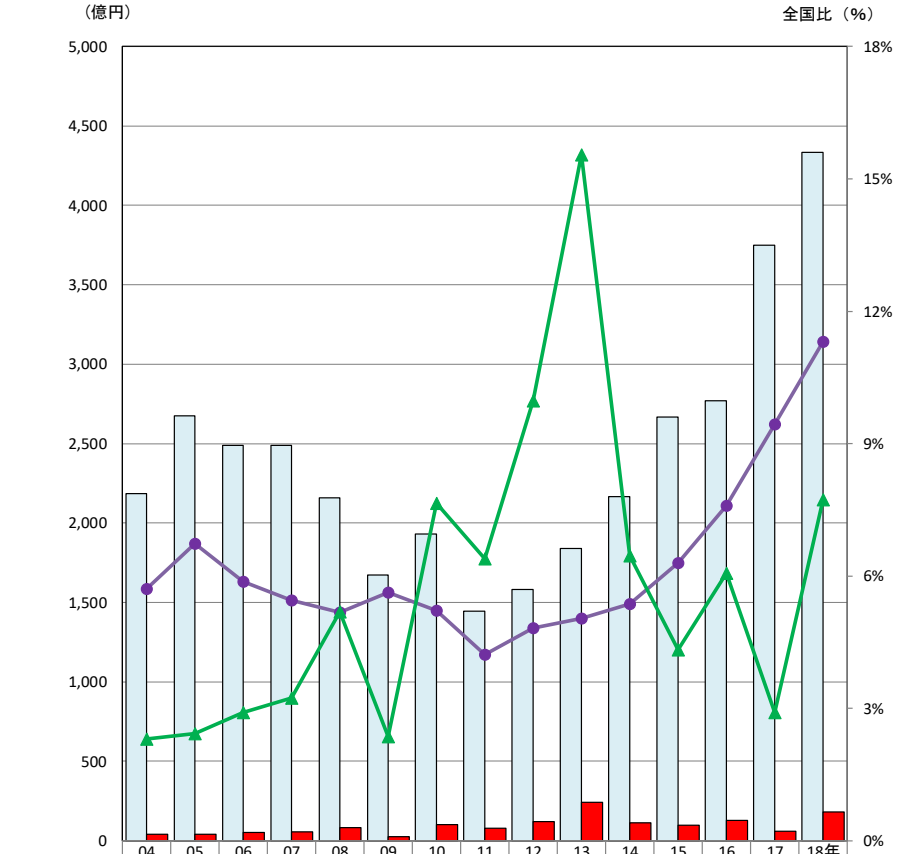
寄与度（増加分）：有機化合物（＋1.7%）、非鉄卑金属くず（＋0.5%）等
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲3.1%）、科学光学機器（▲0.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州と香港の貿易動向＊

○2018年の九州の対香港貿易額
　輸出総額：４，３３４億円（前年比15.6%増）　→　７年連続のプラス
　輸入総額：　　１８１億円（前年比205.2%増）　→　２年ぶりのプラス
　差引額　：４，１５２億円（前年比＋12.5%）
○輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類
○輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず

九州の対香港貿易額の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	2,185	2,674	2,490	2,488	2,160	1,673	1,930	1,444	1,581	1,840	2,165	2,666	2,772	3,749	4,334
輸入額	41	42	51	55	84	24	102	79	121	243	114	98	129	59	181
輸出全国比	5.7%	6.7%	5.9%	5.4%	5.2%	5.6%	5.2%	4.2%	4.8%	5.0%	5.4%	6.3%	7.6%	9.4%	11.3%
輸入全国比	2.3%	2.4%	2.9%	3.2%	5.2%	2.4%	7.6%	6.4%	10.0%	15.6%	6.5%	4.3%	6.1%	2.9%	7.7%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の主な対香港輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	3,152	72.7%	29.4%	47.3%
電気回路等の機器	電気機器	187	4.3%	43.3%	8.1%
船舶類	輸送用機器	140	3.2%	▲66.9%	37.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	63	1.5%	▲6.1%	11.2%
自動車	輸送用機器	50	1.2%	45.0%	5.4%
映像機器	電気機器	36	0.8%	61.3%	16.2%
貴石等の製品類	その他の雑製品	27	0.6%	16.8%	2.5%
コンデンサー	電気機器	24	0.6%	4593.5%	1.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	22	0.5%	▲20.5%	40.9%
原動機	一般機械	21	0.5%	27695.4%	13.7%
その他		611	14.1%	－	－
総　額		4,334	100.0%	15.6%	11.3%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（＋19.1%）、電気回路等の機器（＋1.5%）等
寄与度（減少分）：船舶類（▲7.6%）、化粧品（▲0.3%）等

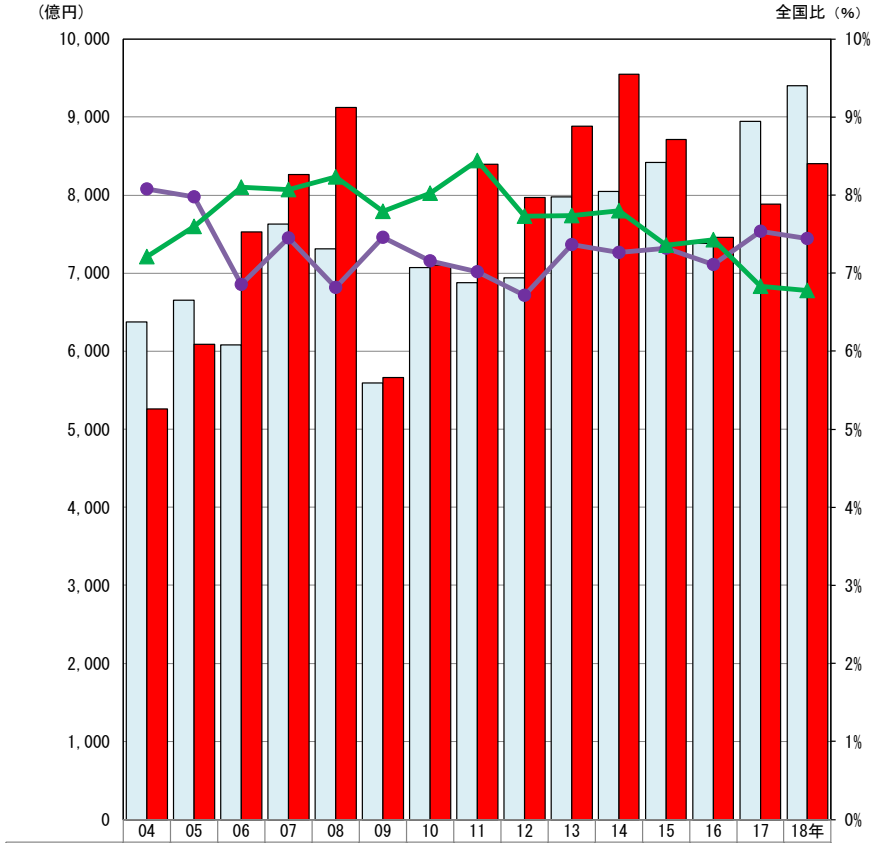
主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	140	77.2%	1367.8%	66.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	5	3.0%	3.2%	18.1%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	3	1.6%	▲67.1%	41.0%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.6	0.3%	－	84.0%
自動車の部分品	電気機器	0.1	0.1%	－	14.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.1	0.1%	▲6.4%	1.9%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.1	0.0%	61.9%	1.5%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.1	0.0%	88.7%	1.3%
荷役機械	一般機械	0.1	0.0%	－	40.1%
ダイヤモンド	非金属鉱物製品	0.0	0.0%	582.1%	0.0%
その他		32.1	17.7%	－	－
総　額		181	100.0%	205.2%	7.7%

寄与度（増加分）：魚介類（＋219.6%）、非鉄卑金属くず（＋0.3%）等
寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲9.7%）、通信機（▲0.1%）等

九州とASEANの貿易動向①＊

○2018年の九州の対ASEAN貿易額
輸出総額：９，４０１億円（前年比5.1%増）　→　２年連続のプラス
輸入総額：８，４０６億円（前年比6.6%増）　→　２年連続のプラス
差引額　：　９９５億円（前年比▲69億円）　→　２年連続の輸出超過

九州の対ASEAN貿易額の推移



	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	6,374	6,654	6,083	7,632	7,313	5,592	7,072	6,878	6,939	7,979	8,049	8,417	7,378	8,947	9,401
輸入額	5,260	6,089	7,530	8,263	9,119	5,665	7,099	8,399	7,969	8,884	9,552	8,711	7,460	7,883	8,406
輸出全国比	8.1%	8.0%	6.9%	7.5%	6.8%	7.5%	7.2%	7.0%	6.7%	7.4%	7.3%	7.3%	7.1%	7.5%	7.4%
輸入全国比	7.2%	7.6%	8.1%	8.1%	8.2%	7.8%	8.0%	8.4%	7.7%	7.7%	7.8%	7.4%	7.4%	6.8%	6.8%

九州のASEAN域内における国別輸出入動向

（単位：億円、%）

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,077	22.1%	21.2%	4.1%	11.4%	1,448	17.2%	14.1%	2.3%	6.2%
タイ	2,320	24.7%	11.7%	2.7%	6.5%	1,783	21.2%	5.4%	1.2%	6.4%
シンガポール	1,967	20.9%	▲7.3%	▲1.7%	7.6%	154	1.8%	▲13.8%	▲0.3%	1.4%
マレーシア	1,305	13.9%	▲2.5%	▲0.4%	8.5%	999	11.9%	7.5%	0.9%	4.8%
ブルネイ	17	0.2%	103.8%	0.1%	15.6%	0.4	0.005%	▲98.5%	▲0.3%	0.01%
フィリピン	655	7.0%	▲11.6%	▲1.0%	5.3%	1,157	13.8%	▲1.5%	▲0.2%	10.0%
インドネシア	967	10.3%	11.6%	1.1%	5.5%	2,782	33.1%	9.4%	3.0%	11.7%
カンボジア	35	0.4%	27.4%	0.1%	7.5%	43	0.5%	26.7%	0.1%	2.4%
ラオス	6	0.06%	166.6%	0.04%	3.8%	5	0.06%	0.02%	0.00001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	3.8%	0.02%	6.7%	35	0.4%	6.7%	0.03%	2.5%
ASEAN　計	9,401	100.0%	5.1%	5.1%	7.4%	8,406	100.0%	6.6%	6.6%	6.8%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州とASEANの貿易動向②＊

○輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、金
〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（＋2.1%）、半導体等電子部品（＋1.7%）
〈寄与度↓〉船舶類（▲3.5%）、荷役機械（▲0.7%）

○輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、石炭
〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（＋5.0%）、石炭（＋2.2%）
〈寄与度↓〉石油ガス類（▲3.2%）、天然ゴム（▲1.4%）

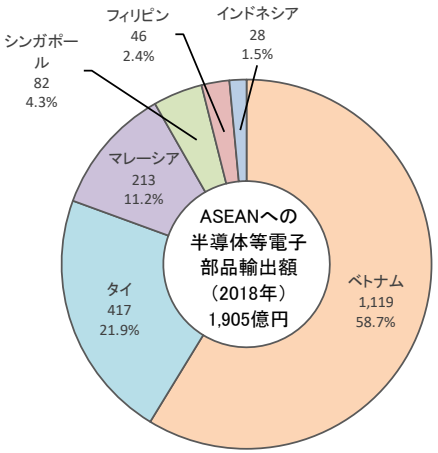
九州の主な対ASEAN輸出入品目

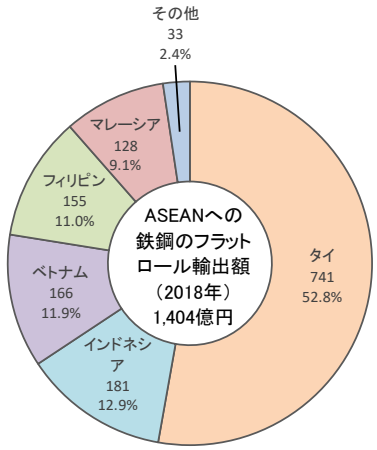
主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,905	20.3%	8.8%	20.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,404	14.9%	15.9%	18.0%
金（マネタリーゴールドを除く）	金（ﾏﾈﾀﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞを除く）	665	7.1%	▲2.9%	24.9%
自動車	輸送用機器	475	5.1%	1.9%	7.7%
有機化合物	元素及び化合物	412	4.4%	15.6%	24.3%
船舶類	輸送用機器	376	4.0%	▲45.3%	20.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	281	3.0%	10.5%	15.7%
原動機	一般機械	267	2.8%	111.0%	5.7%
事務用機器	一般機械	253	2.7%	▲5.6%	9.0%
映像機器	電気機器	202	2.1%	15.0%	53.5%
その他		3,161	33.6%	－	－
総　額		9,401	100.0%	5.1%	7.4%

主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	881	10.5%	13.1%	17.0%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	760	9.0%	105.7%	19.8%
石炭	石炭、コークス及び練炭	668	7.9%	36.1%	18.4%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	533	6.3%	▲32.0%	4.6%
天然ゴム	生ゴム	507	6.0%	▲18.0%	42.0%
自動車の部分品	輸送用機器	390	4.6%	2.3%	17.6%
音響・映像機器（含部品）	電気機器	221	2.6%	4.9%	7.8%
半導体等電子部品	電気機器	141	1.7%	1.0%	3.2%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品（除家具）	133	1.6%	8.7%	14.7%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品（除家具）	126	1.5%	9.6%	8.1%
その他		4,048	48.1%	－	－
総額		8,406	100%	6.6%	6.8%

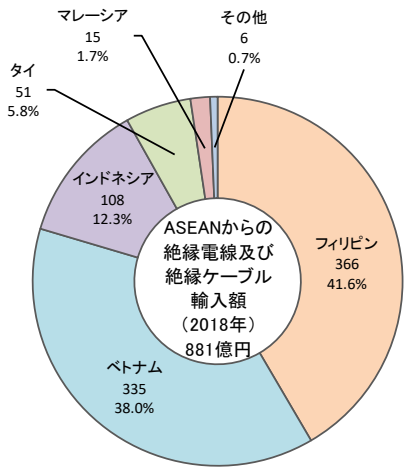
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

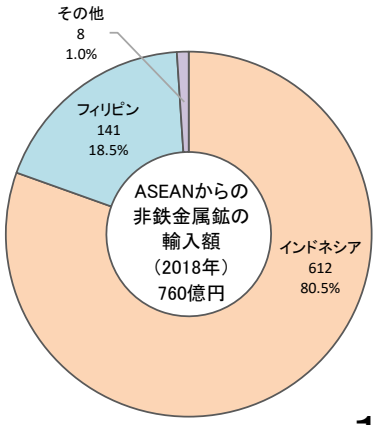
主要輸出品目別相手国





主要輸入品目別相手国

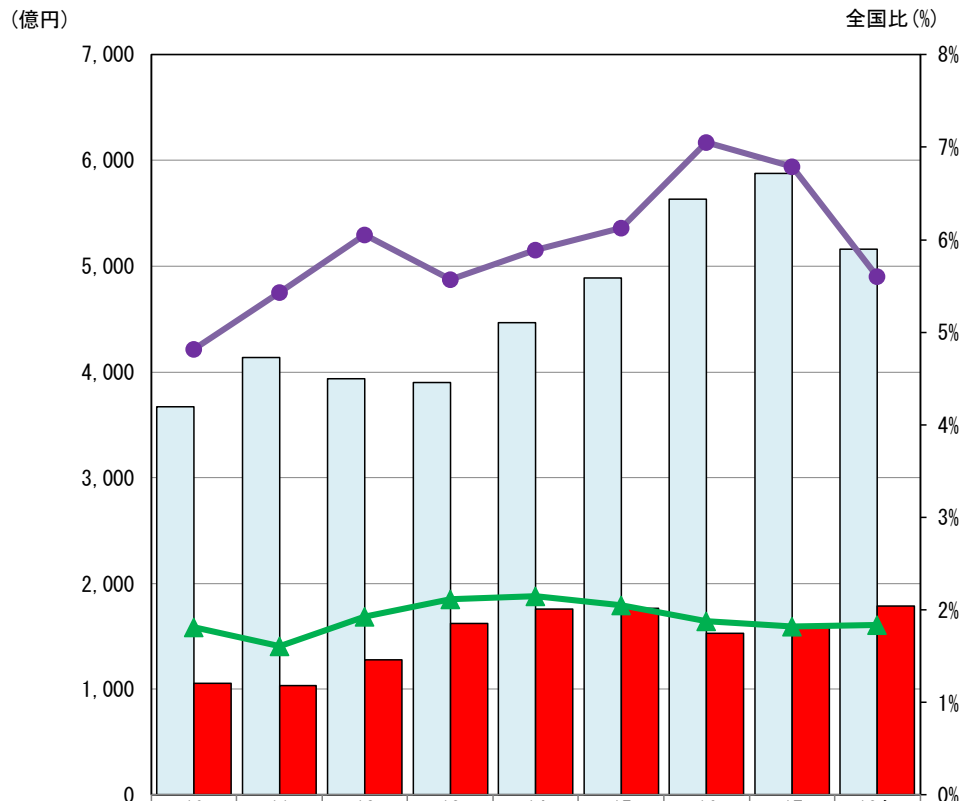




九州とEUの貿易動向①＊

○2018年の九州の対EU貿易額
　輸出総額：５，１６０億円（前年比12.2%減）　→　５年ぶりのマイナス
　輸入総額：１，７８８億円（前年比12.3%増）　→　２年連続のプラス
　差引額　：３，３７２億円（前年比▲912億円）

九州の対EU貿易額の推移



	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	3,669	4,138	3,936	3,898	4,468	4,891	5,631	5,877	5,160
輸入額	1,057	1,031	1,279	1,620	1,757	1,769	1,531	1,592	1,788
輸出全国比	4.8%	5.4%	6.1%	5.6%	5.9%	6.1%	7.1%	6.8%	5.6%
輸入全国比	1.8%	1.6%	1.9%	2.1%	2.2%	2.1%	1.9%	1.8%	1.8%

九州のEU域内における国別輸出入動向（上位10ヶ国）

国名	輸出額（億円）	構成比	輸出額（千円）
オランダ	1,252	24.3%	125,235,634
ドイツ	948	18.4%	94,762,549
英国	545	10.6%	54,460,797
ベルギー	517	10.0%	51,727,745
フランス	426	8.2%	42,560,384
イタリア	393	7.6%	39,258,954
スペイン	322	6.2%	32,179,927
ギリシャ	261	5.1%	26,082,361
スウェーデン	150	2.9%	15,035,894
ポーランド	55	1.1%	5,473,666
その他	293	5.7%	29,254,818
EU計	5,160	100.0%	**516,032,729**

国名	輸入額（億円）	構成比	輸入額（千円）
フランス	463	25.9%	46,284,824
ドイツ	345	19.3%	34,487,780
スペイン	185	10.4%	18,531,979
オランダ	137	7.7%	13,731,648
英国	132	7.4%	13,163,488
ベルギー	120	6.7%	12,000,294
イタリア	104	5.8%	10,434,212
フィンランド	59	3.3%	5,922,954
デンマーク	51	2.8%	5,087,413
スウェーデン	39	2.2%	3,945,236
その他	152	8.5%	15,222,891
EU計	1,788	100.0%	**178,812,719**

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州とEUの貿易動向②＊

〇輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類、船舶類、半導体等電子部品
〇輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品、銅及び同合金

九州の主な対EU輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	659	12.8%	▲58.1%	4.8%
事務用機器	一般機械	546	10.6%	9.5%	14.4%
二輪自動車類	輸送用機器	529	10.2%	41.1%	30.8%
船舶類	輸送用機器	449	8.7%	▲47.1%	33.4%
半導体等電子部品	電気機器	404	7.8%	▲5.7%	20.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	369	7.1%	20.6%	46.5%
映像機器	電気機器	313	6.1%	64.9%	35.7%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	193	3.7%	33.2%	8.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	147	2.9%	―	10.9%
有機化合物	元素及び化合物	117	2.3%	▲2.8%	4.5%
その他		1,433	27.8%	－	－
総　計		5,160	100.0%	▲12.2%	5.6%

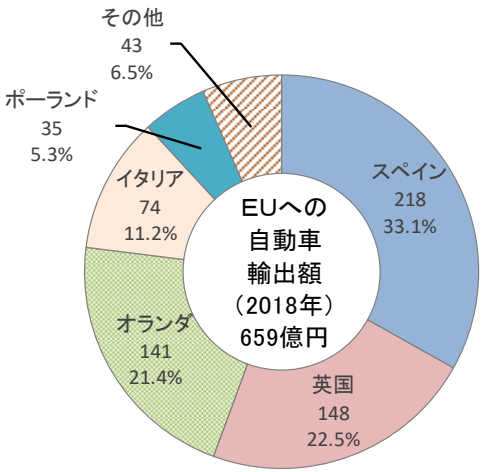
寄与度（増加分）：二輪自動車類（＋2.6%）、映像機器（＋2.1%）等
寄与度（減少分）：自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）等

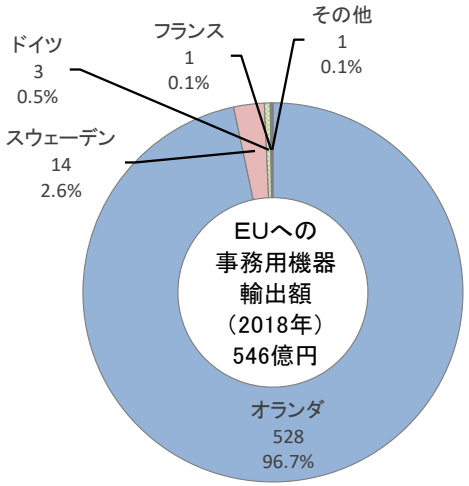
主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
航空機類	輸送用機器	218	12.2%	304.8%	12.4%
原動機	一般機械	125	7.0%	▲52.8%	1.8%
自動車の部分品	輸送用機器	93	5.2%	13.1%	6.1%
銅及び同合金	非鉄金属	76	4.2%	3297.9%	58.0%
有機化合物	元素及び化合物	69	3.9%	19.7%	1.4%
電気計測機器	電気機器	61	3.4%	▲39.2%	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	56	3.1%	25.0%	7.1%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	54	3.0%	1.3%	1.6%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	41	2.3%	－	8.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	40	2.3%	▲7.0%	2.3%
その他		955	53.4%	－	－
総　額		1,788	100%	12.3%	1.8%

寄与度（増加分）：航空機類（＋10.3%）、銅及び同合金（＋4.6%）等
寄与度（減少分）：原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）等

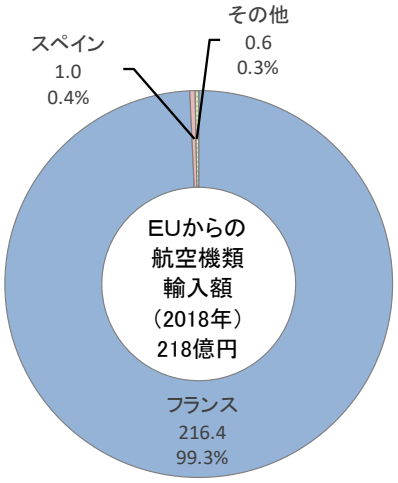
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

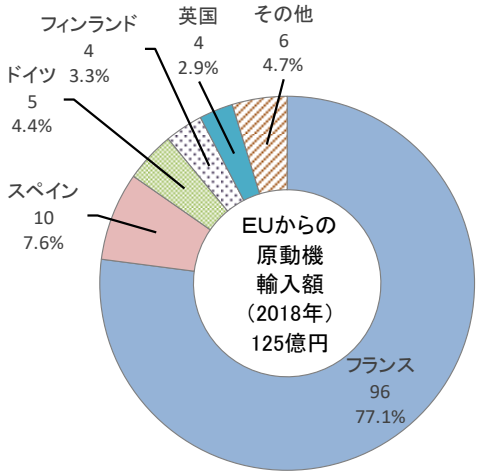
九州のEUへの主要輸出品目別相手国





九州のEUからの主要輸入品目別相手国

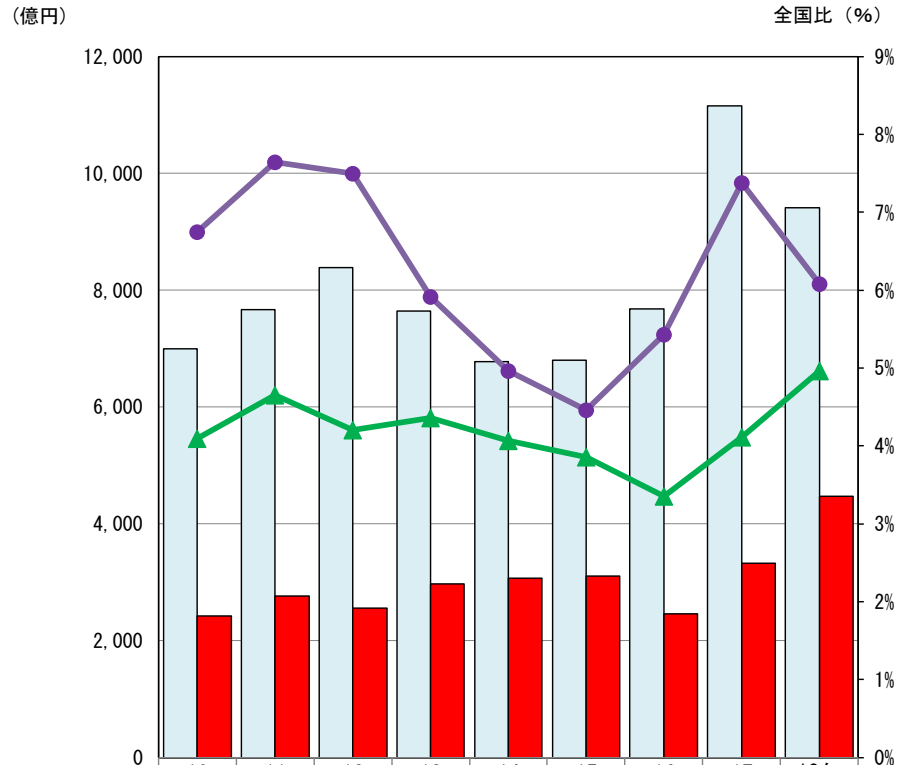




九州と米国の貿易動向＊

○2018年の九州の対米国貿易額
　輸出総額：９，４０５億円（前年比15.7%減）　→　３年ぶりのマイナス
　輸入総額：４，４７７億円（前年比34.6%増）　→　２年連続のプラス
　差引額　：４，９２８億円（前年比▲2,902億円）
○輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ
○輸入品目（輸入額多い順）とうもろこし、原油及び粗油、石油ガス類

九州の対米国貿易額の推移



	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	6,997	7,661	8,388	7,648	6,774	6,795	7,676	11,157	9,405
輸入額	2,423	2,759	2,557	2,974	3,068	3,108	2,454	3,327	4,477
輸出全国比	6.7%	7.6%	7.5%	5.9%	5.0%	4.5%	5.4%	7.4%	6.1%
輸入全国比	4.1%	4.7%	4.2%	4.4%	4.1%	3.9%	3.4%	4.1%	5.0%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州の主な対米国輸出入品目

主な輸出品目	中分類	輸出額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,508	47.9%	▲29.2%	10.0%
事務用機器	一般機械	570	6.1%	7.6%	15.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	412	4.4%	11.6%	32.6%
原動機	一般機械	403	4.3%	13.0%	4.4%
二輪自動車類	輸送用機器	374	4.0%	41.0%	36.4%
映像機器	電気機器	361	3.8%	50.4%	26.2%
半導体等電子部品	電気機器	250	2.7%	▲14.3%	10.7%
自動車の部分品	輸送用機器	203	2.2%	▲23.6%	2.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	139	1.5%	▲21.7%	7.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	135	1.4%	9.4%	3.4%
その他		2,052	21.8%	－	－
総　額		9,405	100%	-15.7%	6.1%

寄与度（増加分）：映像機器（＋1.1%）、二輪自動車類（＋1.0%）等
寄与度（減少分）：自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）等

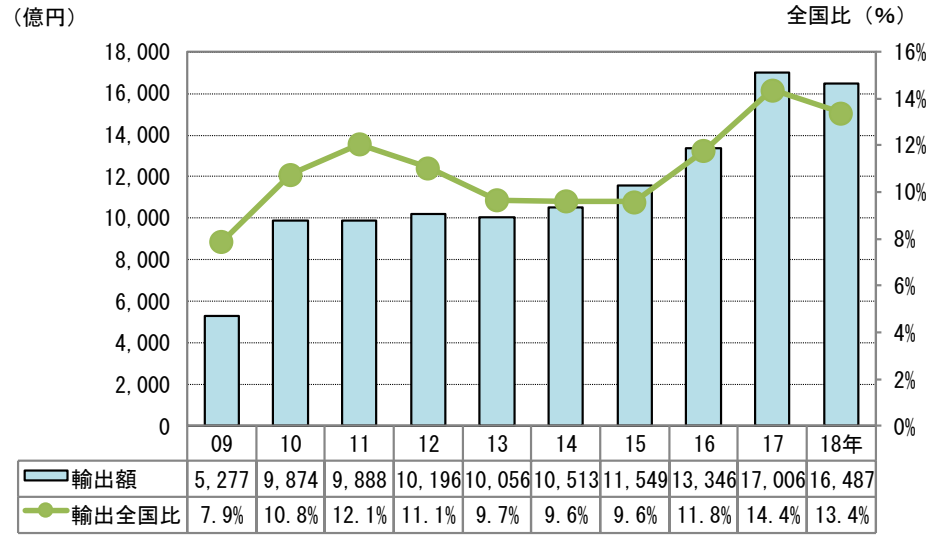
主な輸入品目	中分類	輸入額（億円）	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	777	17.4%	34.4%	22.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	630	14.1%	387.6%	39.7%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	560	12.5%	36.0%	9.6%
石炭	石炭、コークス及び練炭	370	8.3%	72.5%	18.9%
石油製品	石油及び同製品	153	3.4%	▲8.0%	11.8%
有機化合物	元素及び化合物	143	3.2%	18.5%	4.4%
無機化合物	元素及び化合物	142	3.2%	57.5%	8.8%
原動機	一般機械	137	3.0%	43.4%	1.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	136	3.0%	8.6%	9.0%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	110	2.5%	12.6%	12.6%
その他		1,321	29.5%	－	－
総　額		4,477	100%	34.6%	5.0%

寄与度（増加分）：原油及び粗油（＋15.0%）、とうもろこし（＋6.0%）等
寄与度（減少分）：米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）等

九州の産業別貿易動向①（自動車）＊

○2018年の九州の自動車輸出額は、１兆６，４８７億円（前年比3.1%減）
　→　前年より減少し、５年ぶりの減少。
　　輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、韓国
○2018年の九州の自動車生産台数は、１４３万台（前年比2.6%増）
　→　日本全体の生産台数（９７３万台）の１４．７%

九州の自動車輸出額の推移



	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	5,277	9,874	9,888	10,196	10,056	10,513	11,549	13,346	17,006	16,487
輸出全国比	7.9%	10.8%	12.1%	11.1%	9.7%	9.6%	9.6%	11.8%	14.4%	13.4%

九州の自動車の主な輸出相手国・地域

（単位：億円、%）

2013年	金額	構成比	2018年	金額	構成比
全国			**全国**		
米国	37,443	36.0%	米国	45,241	36.8%
オーストラリア	7,484	7.2%	オーストラリア	8,505	6.9%
ロシア	5,864	5.6%	中国	6,377	5.2%
中国	5,219	5.0%	アラブ首長国連邦	5,440	4.4%
アラブ首長国連邦	4,117	4.0%	カナダ	3,966	3.2%
その他	43,998	42.3%	その他	53,542	43.5%
計	104,125	100.0%	計	123,072	100.0%
九州			**九州**		
米国	3,772	37.5%	中国	4,906	29.8%
中国	2,654	26.4%	米国	4,508	27.3%
アラブ首長国連邦	773	7.7%	アラブ首長国連邦	1,962	11.9%
台湾	338	3.4%	韓国	619	3.8%
メキシコ	314	3.1%	台湾	589	3.6%
その他	2,206	21.9%	その他	3,903	23.7%
計	10,056	100.0%	計	16,487	100.0%

世界の自動車生産台数（右図）

（単位：万台、%）

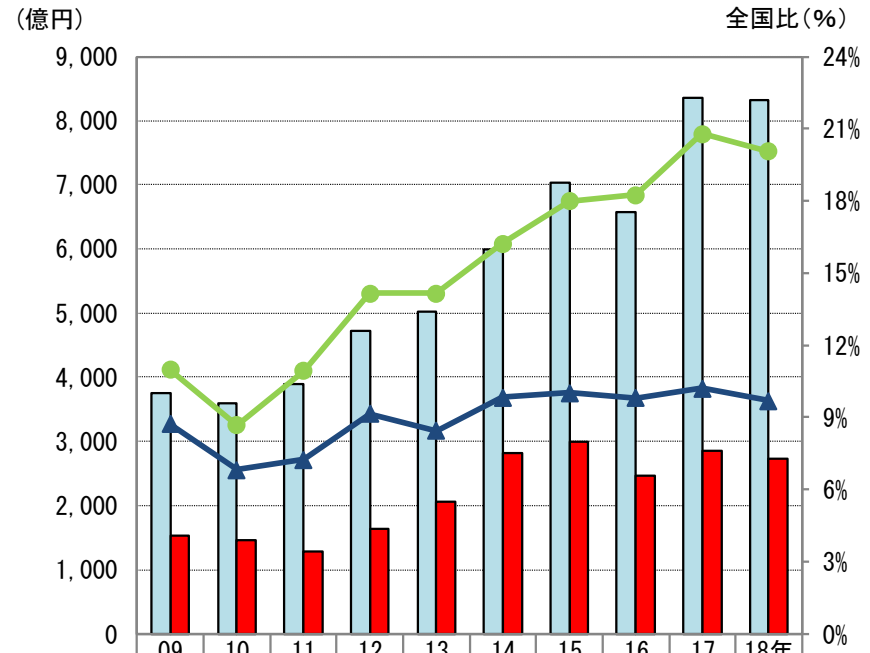
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	構成比	伸び率	13年比
ヨーロッパ	1,992	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	22.3%	▲1.4%	7.1%
米　州	2,113	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	21.7%	0.4%	▲1.6%
アジア大洋州	4,582	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	54.8%	▲1.8%	14.5%
日　本	963	977	928	920	969	973	10.2%	0.4%	1.0%
九　州	134	130	135	135	139	143	1.5%	2.6%	6.4%
中　国	2,212	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	29.1%	▲4.2%	25.7%
韓　国	452	452	456	423	411	403	4.2%	▲2.1%	▲10.9%
インド	390	384	416	452	479	517	5.4%	8.0%	32.7%
タ　イ	246	188	191	194	199	217	2.3%	9.0%	▲11.8%
その他	319	365	341	383	379	354	3.7%	▲6.7%	10.9%
アフリカ	64	72	84	90	100	112	1.2%	12.0%	76.5%
世界計	8,751	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	100.0%	▲1.1%	9.4%

出所：財務省「貿易統計」、国際自動車工業会連合会HPより
　　九州経済産業局作成

九州の産業別貿易動向②（半導体等電子部品）＊

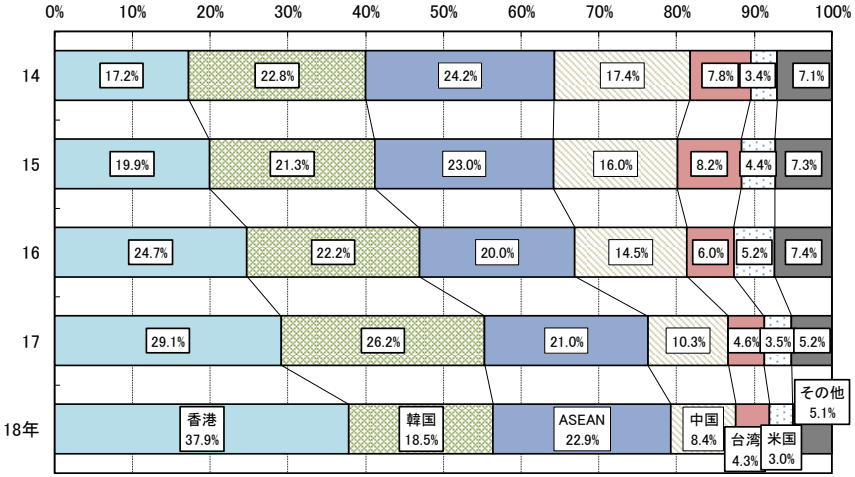
〇2018年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が８，３２７億円（前年比0.4%減）で前年より減少。
　一方、輸入も２，７３１億円（前年比4.3%減）で前年より減少。
〇九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、ベトナム
〇九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国

九州の半導体等電子部品の貿易額推移

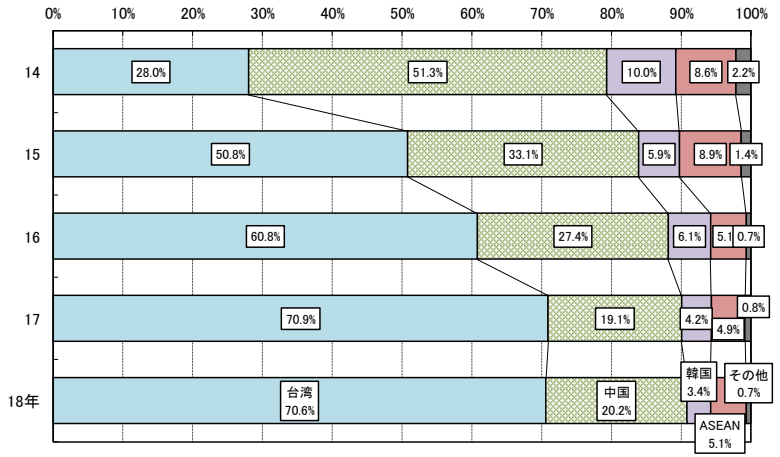


	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	3,756	3,600	3,898	4,730	5,030	5,989	7,039	6,581	8,360	8,327
輸入額	1,533	1,454	1,277	1,628	2,066	2,820	3,000	2,466	2,855	2,731
輸出全国比	11.0%	8.7%	10.9%	14.2%	14.2%	16.2%	18.0%	18.2%	20.8%	20.1%
輸入全国比	8.7%	6.8%	7.2%	9.2%	8.4%	9.8%	10.0%	9.8%	10.2%	9.7%

九州の半導体等電子部品の主な輸出相手国・地域



九州の半導体等電子部品の主な輸入相手国・地域

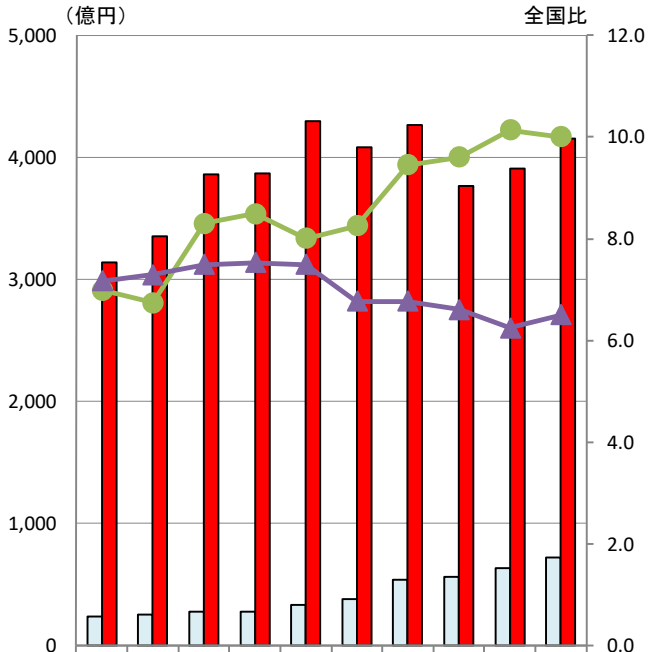


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

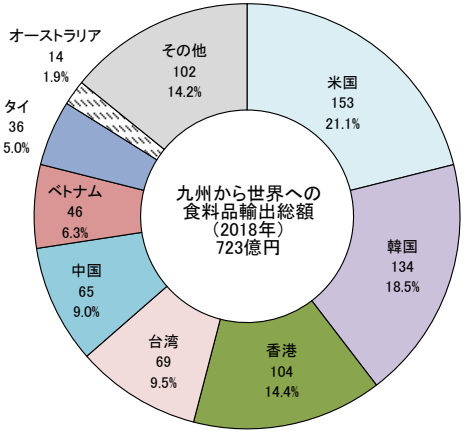
九州の産業別貿易動向③（食料品）＊

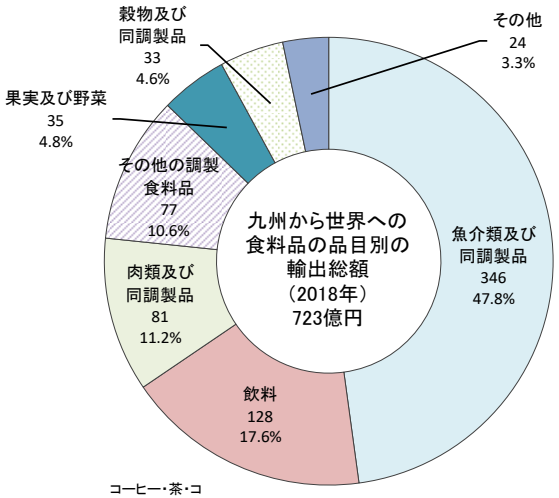
〇2018年の九州の食料品貿易額は、輸出額７２３億円（前年比13.4%増）、輸入額４，１５６億円（前年比6.4%増）
　→　輸出は2009年より毎年の増加、輸入は２年連続の増加。貿易収支は大幅な輸入超過が続く。
〇輸出はアジアや米国向けが多く、品目としては魚介類及び同調製品が5割近くを占めた。
　輸入は北米やアジアのほか、中南米や大洋州など、より多様な国々との取引となっており、
　品目としては穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品が多い。

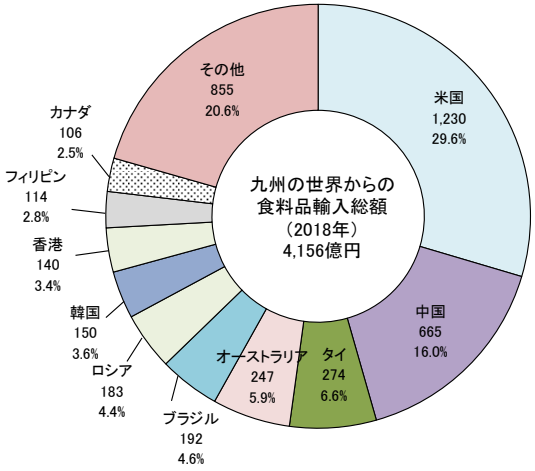
九州の食料品の貿易額推移

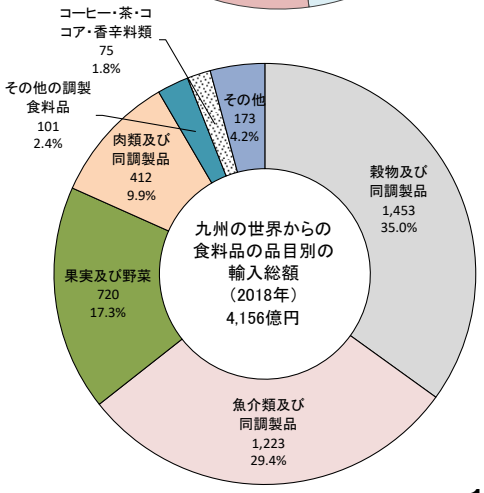


	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
輸出額	236	254	275	280	331	383	540	562	638	723
輸入額	3,142	3,350	3,860	3,872	4,299	4,084	4,262	3,766	3,906	4,156
輸出全国比	7.0	6.7	8.3	8.5	8.0	8.3	9.4	9.6	10.1	10.0
輸入全国比	7.2	7.3	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.2	6.5







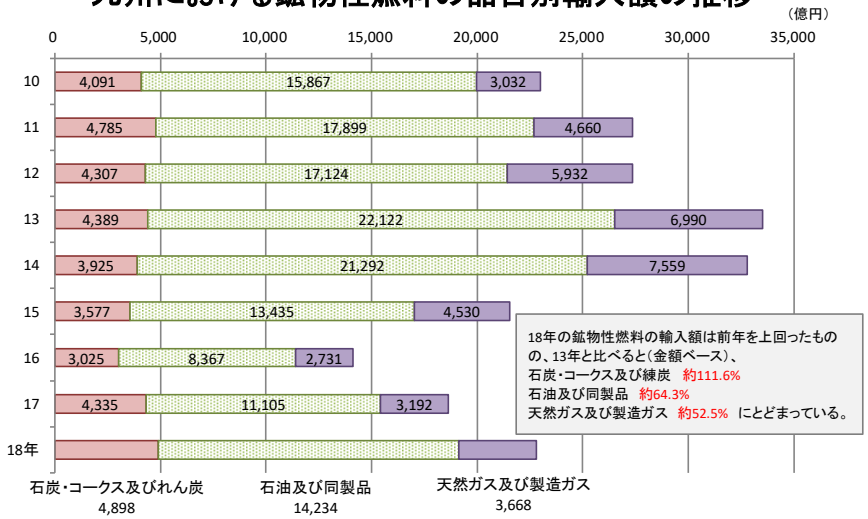


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

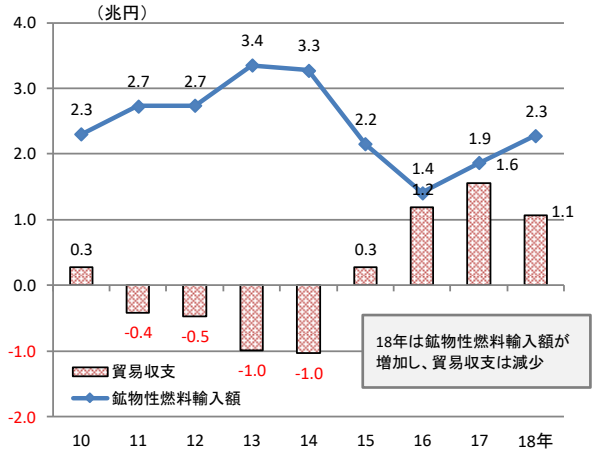
九州の産業別貿易動向④（鉱物性燃料）＊

〇2018年の九州の鉱物性燃料の輸入額は、２兆２，８００億円（前年比22.4%増）
　→　４年ぶりに増加に転じた昨年に続き、２年連続の増加。品目別では、石炭・コークス及びれん炭、石油及び同製品、天然ガス及び製造ガスのいずれも輸入額が前年より増加。
〇原油価格の推移をみると、2015年に大幅に下落。2016年はさらに下落したものの、2017年、2018年は上昇に転じた。
〇2018年の主な鉱物性燃料の輸入数量をみると、石炭は前年より増加、原油及び粗油、ＬＮＧは前年に比べて減少。

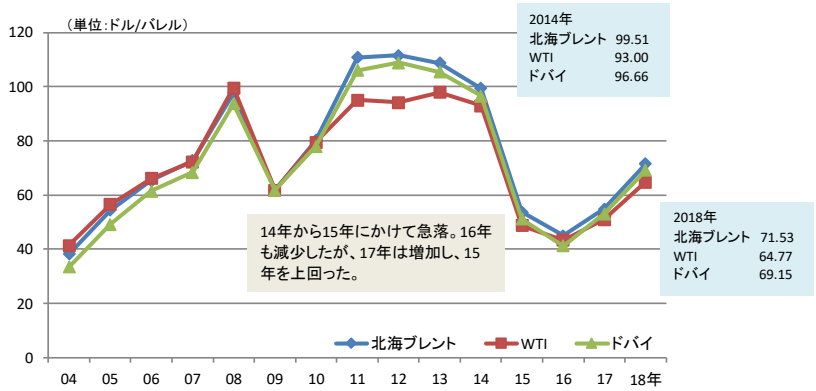
九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移



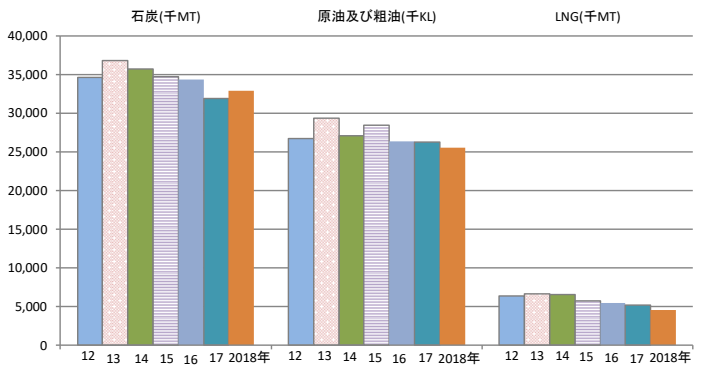
九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



原油相場における原油価格の推移



九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

九州企業の海外進出①

○2018年までの九州企業の海外進出累計件数は1,081件（2018年の新規海外進出件数は27件）で、アジアが 834件（全体の77.2%）を占める。このうち、中国は369件（同34.1%）、ASEAN地域は278件（同25.7%）。
○直近5年（2014年−2018年）の新規進出件数の合計は、ASEAN地域が76件で全体（158件）の48.1%、中国が16件で同10.1%
○全国の海外進出累計件数は31,574件で、うちアジアが19,687件（62.4%）を占める。

九州企業の国・地域別海外進出状況

（単位：件）

	九州												九州計		全　国 2018年時点	
	13年		14年		15年		16年		17年		18年					
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	掲載ベース	構成比(%)
世界合計	38	100.0	37	100.0	38	100.0	27	100.0	29	100.0	27	100.0	1,081	100.0%	31,574	100.0
アジア	30	78.9	31	83.8	26	68.4	18	66.7	26	89.7	17	63.0	834	77.2%	19,687	62.4
中国	9	23.7	6	16.2	3	7.9	2	7.4	2	6.9	3	11.1	369	34.1%	6,846	21.7
韓国	2	5.3	2	5.4	−	−	1	3.7	1	3.4	1	3.7	51	4.7%	972	3.1
香港	3	7.9	2	5.4	−	−	−	−	1	3.4	−	−	39	3.6%	1,307	4.1
台湾	4	10.5	4	10.8	3	7.9	3	11.1	1	3.4	3	11.1	67	6.2%	1,128	3.6
ASEAN	10	26.3	17	45.9	18	47.4	12	44.4	19	65.5	10	37.0	278	25.7%	8,417	26.7
インド	2	5.3	−	−	1	2.6	−	−	2	6.9	−	−	26	2.4%	891	2.8
その他アジア	−	−	−	−	1	2.6	−	−	−	−	−	−	4	0.4%	126	0.4
EU	1	2.6	2	5.4	−	−	5	18.5	1	3.4	3	11.1	78	7.2%	4,240	13.4
ロシア	1	2.6	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	0.4%	184	0.6
米国	1	2.6	3	8.1	9	23.7	1	3.7	−	−	3	11.1	109	10.1%	4,038	12.8
オーストラリア	1	2.6	−	−	−	−	1	3.7	1	3.4	−	−	9	0.8%	610	1.9
その他	4	10.5	1	2.7	3	7.9	2	7.4	1	3.4	4	14.8	47	4.3%	2,815	8.9

出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出2018」、東洋経済新報社「海外進出企業総覧2019（国別編）」より九州経済産業局作成

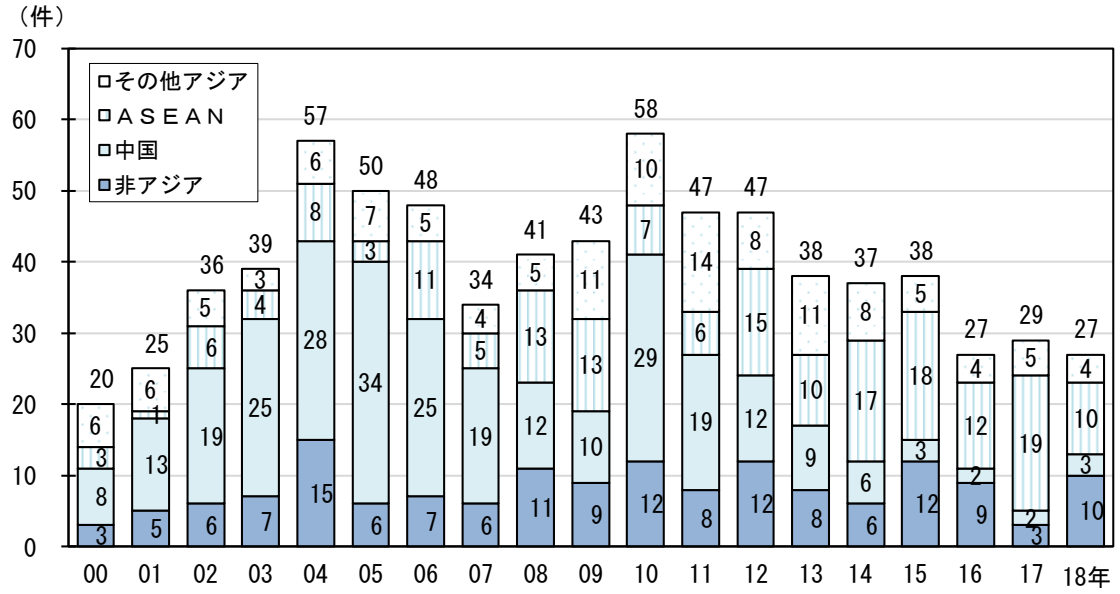
九州企業の海外進出②

○新規進出の件数では、2010年の58件をピークとしてその後は若干減少傾向。2018年は前年を2件下回り、27件とピーク時の2分の1弱となっている。

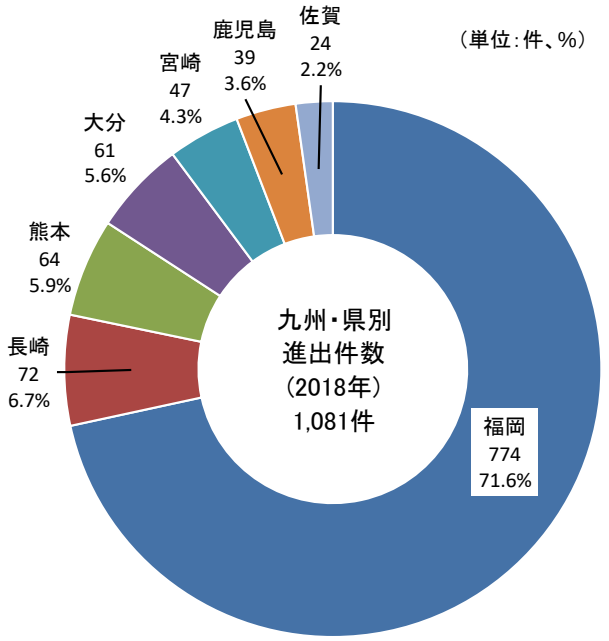
○新規進出先では、2012年以降、ASEANへの進出件数が中国を上回って推移している。また、2018年では非アジアへの進出件数が4割弱となっており、2000年以降では最も高い割合となっている。

○進出企業を県別にみると、福岡県が71.6%と最も多く、以下長崎県、熊本県が続いている。

九州企業による海外進出の年次別進出件数



九州各県の海外進出企業件数（2018年累計）

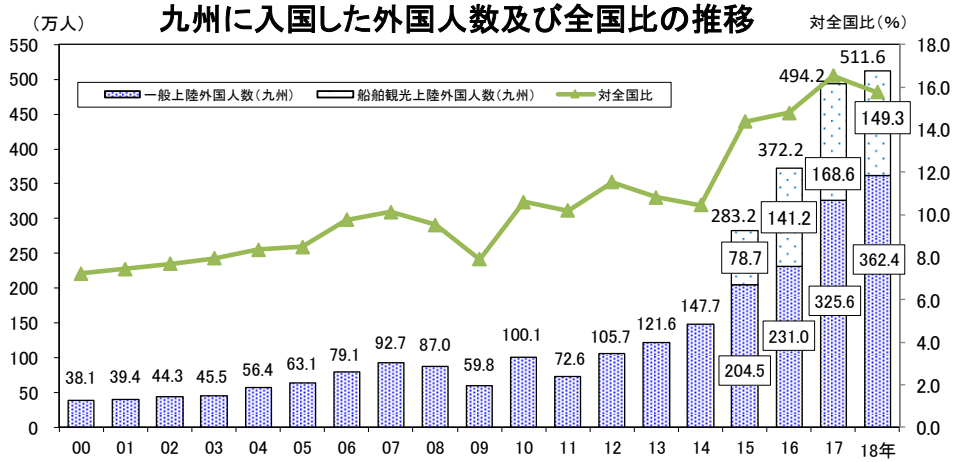


出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出2018」より九州経済産業局作成

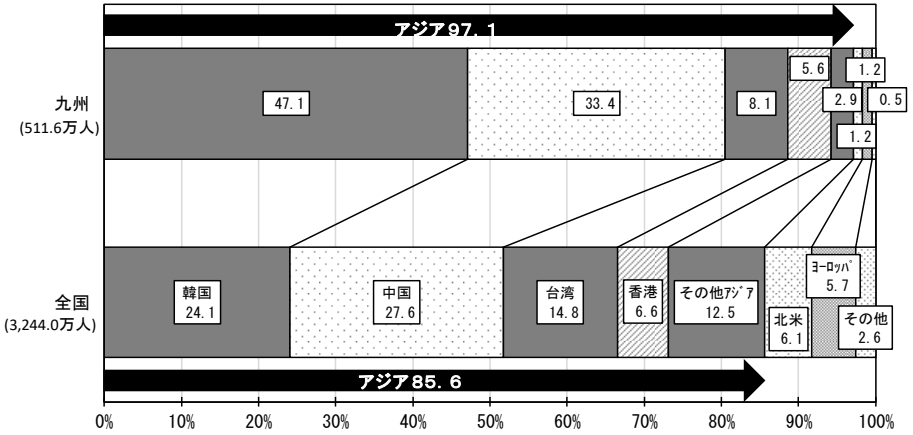
九州への外国人入国者①

○2018年に九州に入国した外国人数（一般上陸許可を受けた外国人数及び船舶観光上陸の許可（出入国管理及び難民認定法第14条の2）を受けた外国人数の総数）は511.6万人（前年比3.5%増、全国比15.8%）と、前年より増加。
国籍別では、韓国（47.1%）、中国（33.4%）、台湾（8.1%）、香港（5.6%）の順で、アジアからの入国者が97.1%と全国（85.6%）に比べて高くなっている。
○2018年に九州に入国した一般上陸外国人数は362.4万人と7年連続の増加。5年前（2013年）の121.6万人から240.7万人増
○2018年の国籍別の全国比では、韓国（30.8%）、香港（13.3%）、台湾（8.7%）、ベトナム（6.4%）の順。特に香港の全国比は、2013年の6.4%から13.3%に上昇（+6.9ポイント）

九州に入国した外国人数及び全国比の推移



九州と全国の外国人入国者数の構成比（2018年）（単位：%）



九州の一般上陸外国人数
（国籍別の全国比が高い順、2018年と2013年の比較）

2018年					2013年			
国籍	一般上陸外国人数（人）	全国比（%）	構成比（%）	伸び率（%）	国籍	一般上陸外国人数（人）	全国比（%）	構成比（%）
韓国	2,408,720	30.8	66.5	203.2	韓国	794,482	29.2	57.9
香港	279,593	13.3	7.7	501.0	台湾	169,184	7.5	14.3
台湾	396,046	8.7	10.9	134.1	ベトナム	6,174	6.5	0.6
ベトナム	26,166	6.4	0.7	323.8	香港	46,524	6.4	5.6
フィリピン	32,296	5.2	0.9	202.2	オランダ	2,146	6.2	0.2
英国	19,931	5.0	0.6	186.5	中国	82,754	5.1	9.9
ミャンマー	1,291	4.6	0.0	290.0	タイ	22,618	4.7	2.9
オランダ	2,894	4.0	0.1	34.9	フィリピン	10,688	4.7	0.8
中国	273,978	3.9	7.6	231.1	シンガポール	8,231	4.3	0.9
シンガポール	17,043	3.9	0.5	107.1	英国	6,956	3.1	0.8
タイ	39,167	3.4	1.1	73.2	米国	24,686	3.0	2.1
オーストラリア	12,674	2.3	0.3	137.6	ミャンマー	331	2.8	0.0
イタリア	3,469	2.3	0.1	464.1	インドネシア	3,688	2.6	0.3
米国	35,199	2.3	1.0	42.6	マレーシア	4,010	2.2	0.4
ドイツ	4,422	2.0	0.1	100.9	オーストラリア	5,334	2.2	0.7
マレーシア	9,224	2.0	0.3	130.0	インド	1,511	1.8	0.1
インド	2,916	1.8	0.1	93.0	ドイツ	2,201	1.8	0.2
フランス	5,340	1.7	0.1	145.2	フランス	2,178	1.4	0.2
インドネシア	6,282	1.6	0.2	70.3	イタリア	615	0.9	0.1
総数	3,623,748	12.0	100.0	197.9	総数	1,216,255	10.8	100.0

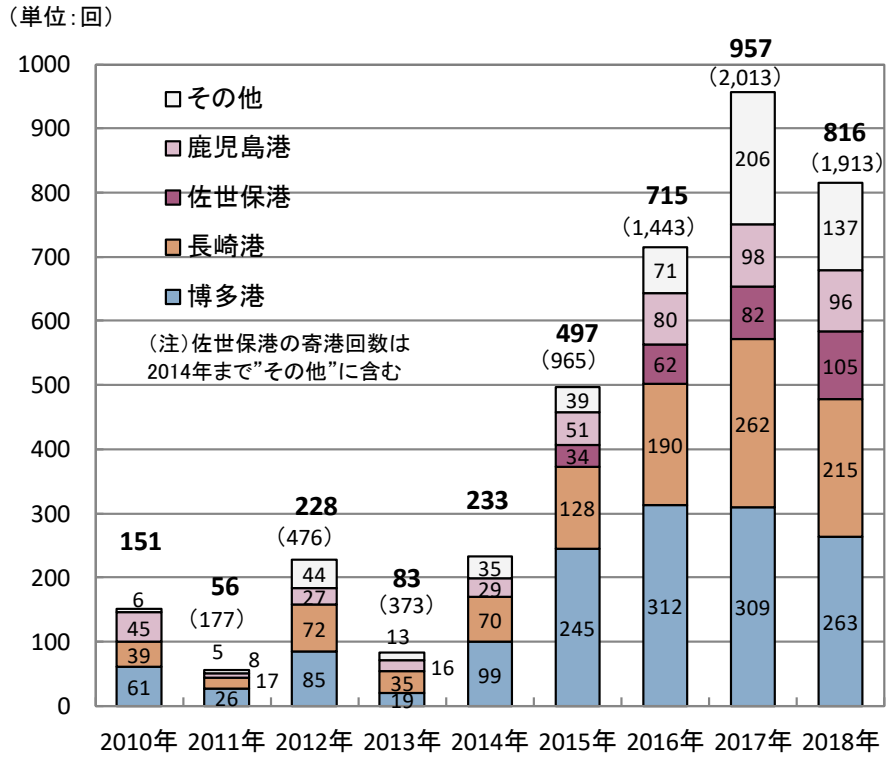
出所：法務省「出入国管理統計」より九州経済産業局作成

九州への外国人入国者②

○九州（下関港を含む）への外国クルーズ船の寄港回数については、2018年は九州全体で816回（全国1,913回）と前年からは減少したものの、全国比は42.7%と依然として高い割合となっている。なお、博多港は、2018年のクルーズ船の寄港回数が263回であり、前年に引き続き全国第1位であった。

○船舶観光上陸の許可を受けた外国人数は149.3万人と、全国（233.8万人）の63.8%を占めた。

九州（下関港を含む）への外国クルーズ船の寄港回数の動向



出所：国土交通省「2018年の我が国のクルーズ等の動向(調査結果)について」及び九州地方整備局「九州クルーズレポート」(2019年6月号)より九州経済産業局作成

九州と全国の港別船舶観光上陸外国人数の動向

（単位：人）

	2018年 船舶観光上陸外国人数	構成比 (%)	伸び率 (%)	2017年 船舶観光上陸外国人数	構成比 (%)
全国	2,337,803	100.0	▲ 4.6	2,449,299	100.0
大阪港	26,845	1.1	▲ 14.8	31,509	1.3
関門港(下関)	49,500	2.1	▲ 30.7	71,423	2.9
九州	1,492,618	63.8	▲ 11.5	1,685,776	68.8
博多港	535,624	22.9	▲ 12.1	609,027	24.9
長崎港	472,383	20.2	▲ 19.5	587,130	24.0
八代港	94,896	4.1	▲ 55.7	214,361	8.8
鹿児島港	162,961	7.0	41.4	115,210	4.7
佐世保港	183,965	7.9	127.2	80,960	3.3
関門港(戸畑)	42,049	1.8	▲ 46.0	77,906	3.2
その他	740	0.0	▲ 37.4	1,182	0.05
那覇港	498,656	21.3	33.9	372,422	15.2
その他	270,184	11.6	▲ 6.2	288,169	11.8

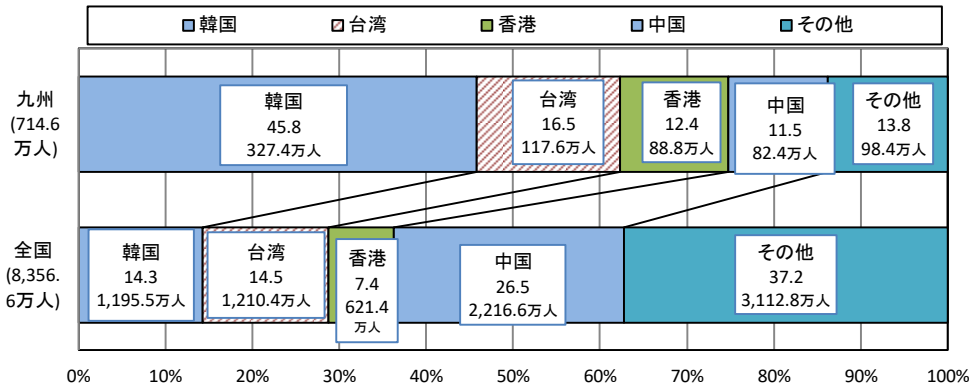
出所：法務省「出入国管理統計」より九州経済産業局作成

九州の外国人延べ宿泊者数

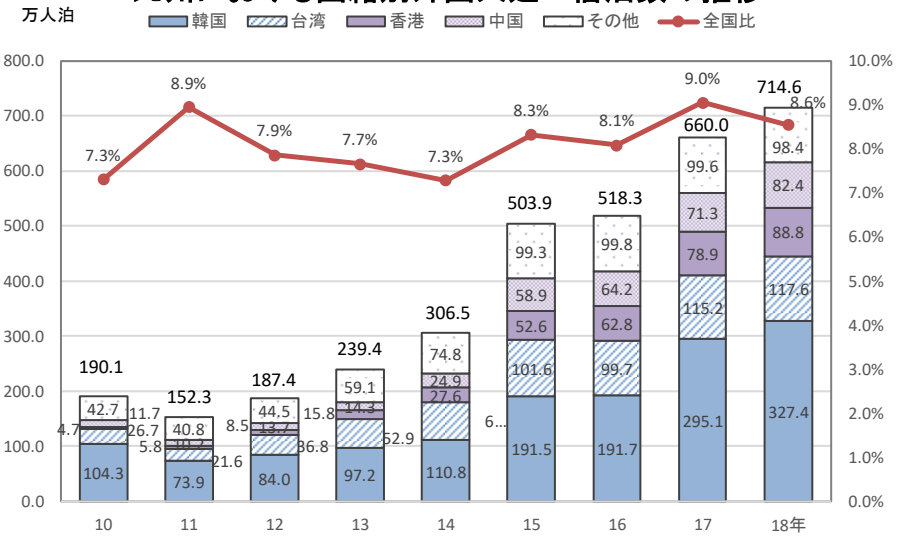
○2018年の九州の外国人延べ宿泊者数（従業員が10人以上の施設）は、714.6万人（前年比 8.3%増、全国比8.6%）。
九州における国籍別の構成比は、韓国（45.8%）、台湾（16.5%）、香港（12.4%）、中国（11.5%）の順。
※韓国327.4万人（前年比11.0%増）、台湾117.6万人（同2.1%増）、香港88.8万人（同12.6%増）、中国82.4万人（同15.6%増）

○県別構成比は、福岡県（44.5%）、大分県（15.4%）、熊本県（12.6%）の順。
鹿児島県では香港の構成比（29.7%）が、また長崎県ではアメリカの構成比（6.8%）が他県に比べ、高くなっている。

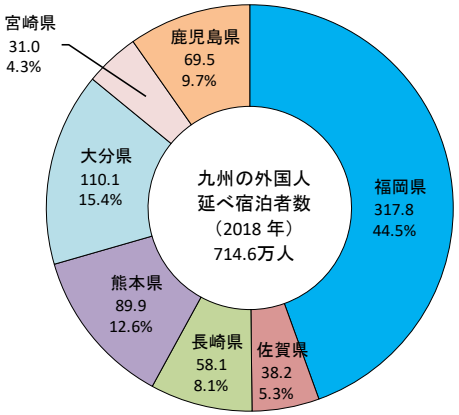
九州における外国人延べ宿泊者の構成



九州における国籍別外国人延べ宿泊数の推移



九州における外国人延べ宿泊数の県別構成比



九州各県別外国人延べ宿泊者数の国籍別構成比（上位10か国、2018年）

福岡			佐賀			長崎			熊本			大分			宮崎			鹿児島		
	人数	構成比(%)		人数	構成比(%)		人数	構成比(%)		人数	構成比(%)		人数	構成比(%)		人数	構成比(%)		人数	構成比(%)
韓国	1,564,650	49.2	韓国	200,270	52.5	韓国	218,710	37.6	韓国	330,120	36.7	韓国	651,370	59.2	韓国	135,910	43.8	香港	206,490	29.7
台湾	455,340	14.3	台湾	81,140	21.3	台湾	92,540	15.9	台湾	219,020	24.4	台湾	129,720	11.8	台湾	66,480	21.4	韓国	173,050	24.9
中国	378,960	11.9	中国	63,490	16.6	中国	69,840	12.0	香港	121,710	13.5	香港	103,140	9.4	香港	64,410	20.8	台湾	131,960	19.0
香港	343,250	10.8	香港	13,780	3.6	アメリカ	39,330	6.8	中国	110,020	12.2	中国	97,840	8.9	中国	14,350	4.6	中国	89,120	12.8
アメリカ	63,180	2.0	タイ	3,750	1.0	香港	35,380	6.1	シンガポール	15,220	1.7	タイ	20,210	1.8	アメリカ	4,510	1.5	アメリカ	12,900	1.9
タイ	61,750	1.9	アメリカ	2,980	0.8	タイ	9,320	1.6	アメリカ	15,120	1.7	シンガポール	12,750	1.2	シンガポール	2,900	0.9	シンガポール	8,780	1.3
シンガポール	34,340	1.1	シンガポール	1,720	0.5	シンガポール	8,420	1.4	タイ	13,360	1.5	アメリカ	10,920	1.0	タイ	1,350	0.4	イギリス	5,250	0.8
フィリピン	19,720	0.6	オーストラリア	1,280	0.3	ドイツ	5,900	1.0	オーストラリア	5,130	0.6	マレーシア	4,450	0.4	フランス	1,230	0.4	ドイツ	4,900	0.7
オーストラリア	15,830	0.5	イギリス	590	0.2	オーストラリア	5,880	1.0	マレーシア	4,820	0.5	オーストラリア	4,090	0.4	イギリス	1,120	0.4	フランス	4,830	0.7
イギリス	14,880	0.5	フランス	580	0.2	フィリピン	5,730	1.0	ドイツ	4,300	0.5	インドネシア	3,200	0.3	ドイツ	1,000	0.3	オーストラリア	4,610	0.7
総数	3,178,480	100.0	総数	381,680	100.0	総数	581,130	100.0	総数	898,870	100.0	総数	1,100,550	100.0	総数	310,070	100.0	総数	694,940	100.0

出所：国土交通省「宿泊旅行統計調査（平成30年1月～12月）」より九州経済産業局作成（従業員10 人以上の宿泊施設が対象）

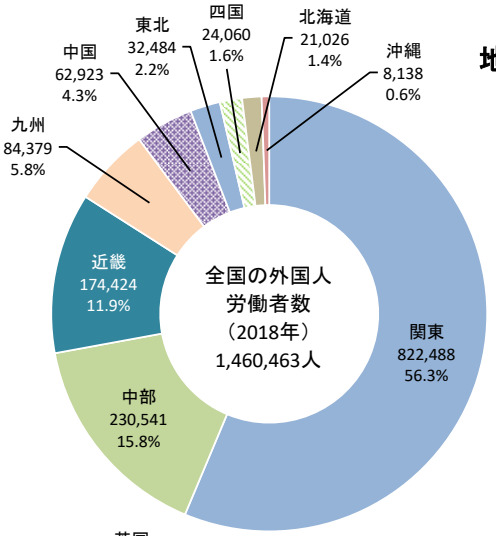
九州の外国人労働者①

○2018年の全国の外国人労働者数は1,460,463人（前年同期比14.2%増）。地域別では、関東が56.3%と最も多く、次いで中部（15.8%）、近畿（11.9%）等となっている。国籍別では、中国（香港等含む）が26.6%と最も多く、次いでベトナム（21.7%）、フィリピン（11.2%）等となっている。

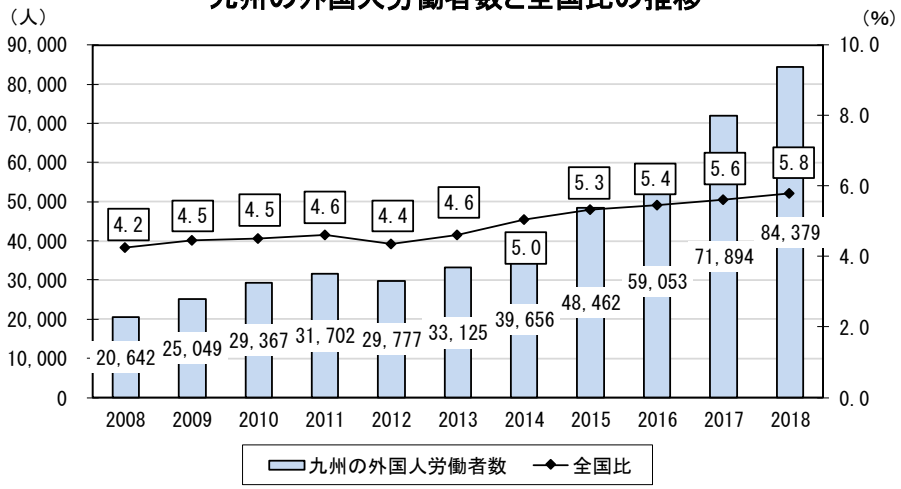
○九州の外国人労働者数は84,379人（前年比17.4%増、全国比5.8%）。産業別では、製造業が28.7%と最も多く、次いで卸売業・小売業（14.8%）、宿泊業・飲食サービス業（9.9%）等となっている。

地域別外国人労働者数

（単位：人、%）

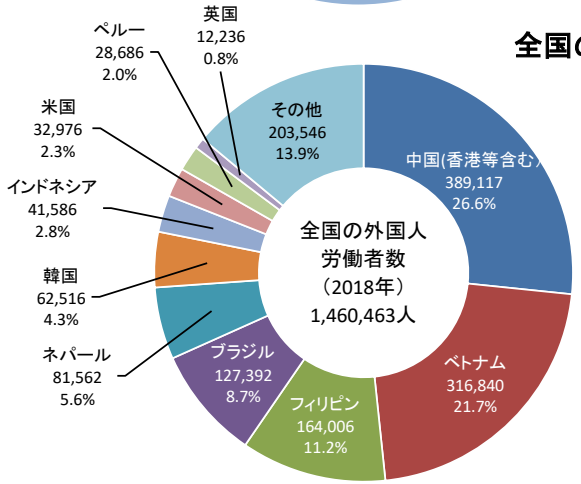


九州の外国人労働者数と全国比の推移



全国の国籍別の外国人労働者数

（単位：人、%）



九州と全国の産業別の外国人労働者数

産業	九州			全国	
	人数	構成比	全国比	人数	構成比
製造業	24,246	28.7%	5.6%	434,342	29.7%
卸売業・小売業	12,475	14.8%	6.7%	186,061	12.7%
教育・学習支援業	6,335	7.5%	9.1%	69,764	4.8%
宿泊業・飲食サービス業	8,318	9.9%	4.5%	185,050	12.7%
建設業	5,008	5.9%	7.3%	68,604	4.7%
情報通信業	785	0.9%	1.4%	57,620	3.9%
医療・福祉	1,538	1.8%	5.9%	26,086	1.8%
サービス業（他に分類されないもの）	8,797	10.4%	3.8%	230,510	15.8%
上記以外	16,877	20.0%	8.3%	202,426	13.9%
全産業計	84,379	100.0%	5.8%	1,460,463	100.0%

出所：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（平成30年10月末現在）より九州経済産業局作成。

九州の外国人労働者②

○2018年の九州の外国人労働者数の国籍別では、ベトナムが33.2%と最も高く、次いで中国（香港等を含む）（23.1%）、ネパール（11.1%）、フィリピン（10.4%）の順。また、ネパールの全国比は11.5%と、他の国に比べ最も高くなっている。

○これらの国々の各県ごとの構成比（高い順）

- ベトナム：鹿児島県（43.7%）、熊本県（41.9%）、宮崎県（40.5%）
- 中国（香港等を含む）：各県とも20%前後
- ネパール：佐賀県（18.4%）、福岡県（15.7%）
- フィリピン：鹿児島県（18.4%）、大分県（14.7%）、長崎県（13.8%）、熊本県（13.7%）

九州各県の国籍別外国人労働者数（九州全体の構成比が高い順）

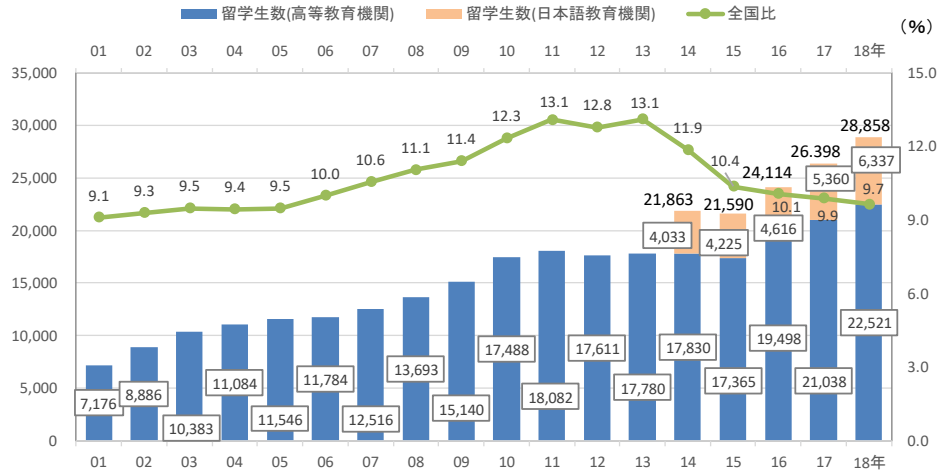
	九州						福岡			佐賀			長崎			熊本			大分			宮崎			鹿児島		
	2018年				2017年		2018年			2018年			2018年			2018年			2018年			2018年			2018年		
	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	全国比（%）	人数（人）	構成比（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）	人数（人）	構成比（%）	伸び率（%）
総数	84,379	100.0	17.4	5.8	71,894	100.0	46,273	100.0	17.4	5,258	100.0	12.4	5,433	100.0	▲ 2.2	10,155	100.0	31.2	6,254	100.0	14.6	4,144	100.0	18.7	6,862	100.0	23.8
ベトナム	28,038	33.2	38.8	8.8	20,204	28.1	13,894	30.0	37.8	1,664	31.6	40.8	1,764	32.5	22.8	4,260	41.9	49.9	1,782	28.5	24.7	1,678	40.5	36.8	2,996	43.7	49.6
中国（香港等を含む）	19,496	23.1	▲ 0.7	5.0	19,630	27.3	11,598	25.1	2.6	982	18.7	▲ 2.9	1,054	19.4	▲ 12.8	2,427	23.9	7.1	1,296	20.7	▲ 9.7	772	18.6	▲ 15.7	1,367	19.9	▲ 8.4
ネパール	9,369	11.1	10.5	11.5	8,477	11.8	7,286	15.7	10.5	968	18.4	▲ 6.9	267	4.9	10.8	301	3.0	50.5	270	4.3	21.6	159	3.8	37.1	118	1.7	76.1
フィリピン	8,772	10.4	8.0	5.3	8,123	11.3	3,640	7.9	12.5	478	9.1	4.4	748	13.8	▲ 30.2	1,395	13.7	24.3	922	14.7	15.4	325	7.8	4.5	1,264	18.4	12.4
韓国	3,256	3.9	15.1	5.2	2,830	3.9	2,262	4.9	14.1	113	2.1	15.3	199	3.7	10.6	203	2.0	35.3	251	4.0	5.0	90	2.2	28.6	138	2.0	24.3
インドネシア	3,161	3.7	69.1	7.6	1,869	2.6	955	2.1	35.8	411	7.8	－	307	5.7	▲ 14.2	268	2.6	91.4	478	7.6	54.2	499	12.0	39.4	243	3.5	－
アメリカ	1,676	2.0	5.6	5.1	1,587	2.2	820	1.8	6.5	71	1.4	2.9	212	3.9	▲ 2.8	182	1.8	5.8	159	2.5	13.6	90	2.2	▲ 4.3	142	2.1	14.5
イギリス	619	0.7	6.9	5.1	579	0.8	400	0.9	7.2	14	0.3	▲ 12.5	38	0.7	▲ 13.6	55	0.5	22.2	20	0.3	25.0	33	0.8	50.0	59	0.9	▲ 6.3
ブラジル	217	0.3	12.4	0.2	193	0.3	122	0.3	10.9	12	0.2	33.3	0	0.0	0.0	20	0.2	5.3	38	0.6	65.2	7	0.2	▲ 12.5	18	0.3	50.0
ペルー	141	0.2	2.9	0.5	137	0.2	100	0.2	4.2	13	0.2	18.2	0	0.0	0.0	5	0.0	▲ 16.7	15	0.2	0.0	3	0.1	▲ 25.0	5	0.1	66.7
その他	9,634	11.4	16.6	4.7	8,265	11.5	5,196	11.2	24.2	532	10.1	▲ 32.1	844	15.5	7.9	1,039	10.2	33.2	1,023	16.4	23.4	488	11.8	34.1	512	7.5	▲ 5.5

出所：厚生労働省及び九州管内各労働局「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（平成30年10月末現在）より九州経済産業局作成。

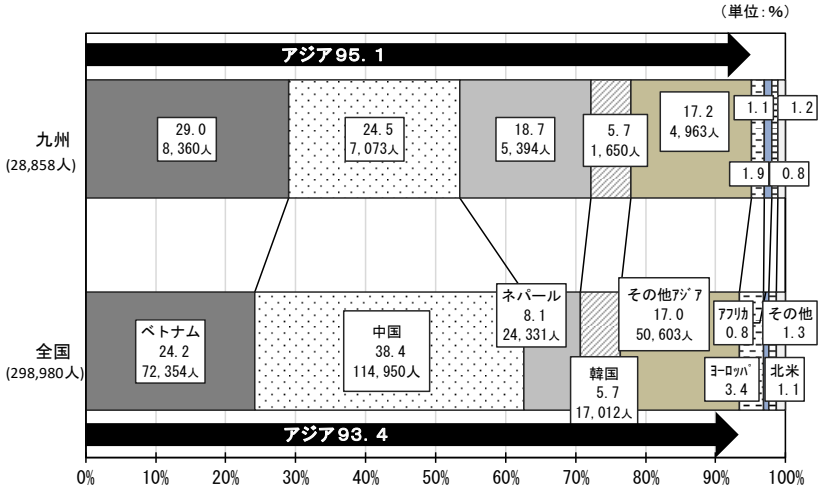
九州の留学生

〇2018年の九州の留学生数（高等教育機関及び日本語教育機関における総数）は28,858人（前年比9.3%増、全国比9.7%）。
〇国籍別ではベトナム（29.0%）、中国（24.5%）、ネパール（18.7%）、韓国（5.7%）の順で、アジアからの留学生が95.1%。
〇九州の企業等に就職した留学生は1,048人（前年比11.9%減）と前年より減少。

九州の留学生数の推移

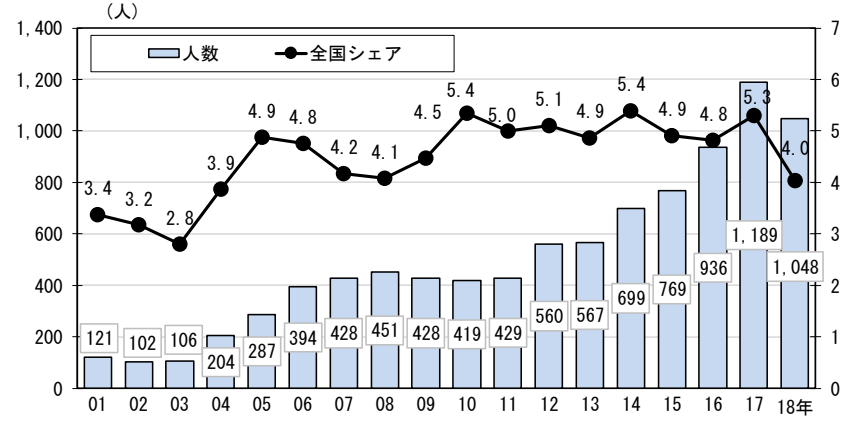


九州と全国の留学生数の構成比



出所：（独）日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」（平成30年5月1日現在）より九州経済産業局作成

九州の企業等に就職した留学生数の推移



出所：法務省入国管理局「平成30年における留学生の日本企業等への就職状況について」より九州経済産業局作成

【トピックス】九州とTPP加盟国との貿易動向について

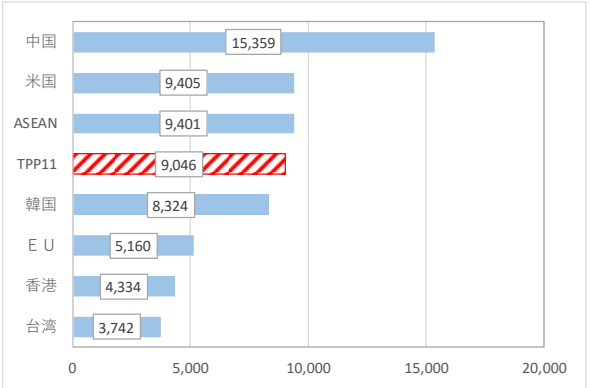
〇2018年の九州のTPP11への輸出額は9,046億円で、輸出額全体に占める割合は13.0%（全国比8.4%）、輸入額は1兆2,704億円で、輸入額全体に占める割合は21.6%（全国比9.0%）。
〇相手国別では、輸出はベトナムへの輸出額が最も多く、次いでシンガポール、マレーシア。輸入はオーストラリアからの輸入額が最も多く、次いでベトナム、カナダ。
〇九州の貿易相手国・地域の上位とTPP11とを比較すると、輸出ではASEANと同規模であり、第3位である韓国を上回る。輸入では第1位である中国を上回る規模となる。

九州とTPP参加国との貿易額と構成比

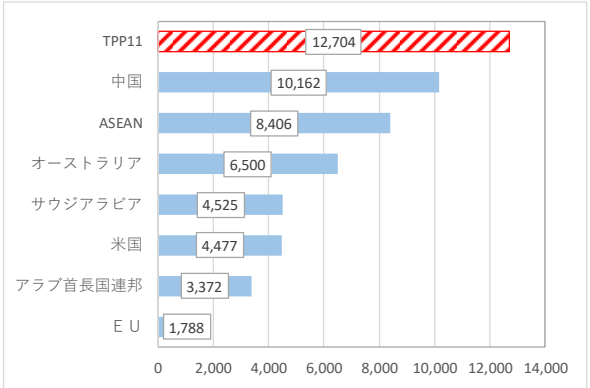
参加国	九州						全国			
	輸出額（億円）	構成比（%）	全国比（%）	輸入額（億円）	構成比（%）	全国比（%）	輸出額（億円）	構成比（%）	輸入額（億円）	構成比（%）
カナダ	1,033	1.5%	10.0%	1,096	1.9%	8.5%	10,294	1.3%	12,950	1.6%
メキシコ	992	1.4%	7.7%	912	1.5%	13.0%	12,829	1.6%	6,998	0.8%
チリ	315	0.5%	14.3%	976	1.7%	12.2%	2,202	0.3%	8,003	1.0%
ペルー	149	0.2%	18.4%	502	0.9%	19.1%	813	0.1%	2,632	0.3%
マレーシア	1,305	1.9%	8.5%	999	1.7%	4.8%	15,387	1.9%	20,910	2.5%
シンガポール	1,967	2.8%	7.6%	154	0.3%	1.4%	25,841	3.2%	10,760	1.3%
ベトナム	2,077	3.0%	11.4%	1,448	2.5%	6.2%	18,142	2.2%	23,352	2.8%
ブルネイ	17	0.02%	15.6%	0.4	0.001%	0.01%	110	0.01%	2,586	0.3%
オーストラリア	1,084	1.6%	5.7%	6,500	11.0%	12.9%	18,862	2.3%	50,528	6.1%
ニュージーランド	107	0.2%	3.7%	117	0.2%	4.0%	2,885	0.4%	2,929	0.4%
TPP11計	9,046	13.0%	8.4%	12,704	21.6%	9.0%	107,364	13.2%	141,649	17.1%
貿易額（全世界）	69,506	100.0%	8.5%	58,854	100.0%	7.1%	814,788	100.0%	827,033	100.0%
【参考】										
米国	9,405	13.5%	6.1%	4,477	7.6%	5.0%	154,702	19.0%	90,149	10.9%
TPP12計	18,451	26.5%	7.0%	17,181	29.2%	7.4%	262,066	32.2%	231,798	28.0%

九州の貿易相手国・地域（上位）とTPP11の貿易額の比較

【輸出】



【輸入】



出所：財務省「貿易統計」より
九州経済産業局作成